ISSN 1882-6075

Journal of Iwate Society of Nursing Science

岩手看護学会誌

巻頭言

岩手看護学会誌の発刊からを振り返って　蛎﨑奈津子　1

研究報告

看護学生における術後せん妄に対する態度　釜田明日香，小澤尚子　3

介護老人保健施設における看護師・介護福祉士の看取り体験　日當沙代子，菊池和子　15

初妊婦の妊娠の受容を促進する他者との関係性における経験　金谷掌子　29

事例報告

妊娠後骨粗鬆症を併発した高年初産婦に対する看護　遊田由希子，中村美沙子，奥寺　忍　37

めんこいセミナー

ネットを使用した文献検索　川崎かおる　47

学会記事

会告　岩手看護学会第 12 回学術集会開催　60

平成 30 年度第 1 回岩手看護学会理事会議事録　61

平成 30 年度第 2 回岩手看護学会理事会議事録　64

平成 30 年度第 3 回岩手看護学会理事会議事録　66

平成 30 年度岩手看護学会評議員会議事録　68

平成 30 年度岩手看護学会総会議事録　70

平成 30 年度岩手看護学会総会議事録　同資料　73

岩手看護学会会則　87

岩手看護学会役員名簿　90

岩手看護学会入会手続きご案内　91

入会申込書　92

岩手看護学会誌投稿規則　93

Journal of Iwate Society of Nursing Science Submission Guidelines　98

論文投稿のご案内　102

査読者リスト　103

編集後記　104

第 12 巻第 2 号　2018 年 11 月

岩手看護学会

Iwate Society of Nursing Science

巻　頭　言

岩手看護学会誌の発刊からを振り返って

平成 19 年 6 月に発足した岩手看護学会は，その約半年後に岩手看護学会誌の刊行を始めました．翌年からは年 2 回の刊行がなされ，本誌で第 12 号となりました．掲載論文は 60 本を超え，原著論文や研究報告に加え，日々の臨床実践から得た知見を整理した事例報告や実践報告，短報，資料等も掲載されております．教育研究者の他，多くの看護実践者の皆様からのご投稿に心より感謝申し上げます．

私は岩手県内の看護職の方々へ看護研究に関するお話をさせていただく機会があります．その際にいくつか質問をお受けしたり，施設内での看護研究に取り組むご様子をお話いただいたりしております．そのたびに，それぞれの方が取り組んでいる，あるいはこれから取り組もうとしている研究の種の素晴らしさとその意義を痛感しております．看護研究に関わる多くの重鎮は対象からデータをとるだけの研究活動への警告を発しています．研究成果を看護現場に還元してはじめて看護研究の一連の過程が終わるものと思います．この点で，日々の実践を通して得た疑問や気づきをもとにした看護研究は，看護行為への内省から業務の見直しや改善など，まさに看護の質的向上に直結する意義あるものと感じます．また，変化をもたらす研究に必要なことのひとつに，困っている人の顔が思い浮かぶほどの具体的な問題意識が挙げられます．「先日，受け持った『あの患者さん』」を想起し，同様な状況に置かれる対象者への看護のあり方を再考する，この過程を身近に体感しながら研究に取り組むことができるのは臨床実践者の強みであると感じます．

少子高齢化による医療・保健ニーズの増大や生活背景の多様化に起因する複雑な健康課題への対応，一方でその担い手となる看護職の人員不足など，私たち看護職を取り巻く環境は厳しい現状に置かれています．このようななかで看護研究に取り組む皆様にとって有益な支援となるよう，本学会では年に 1 度の学術集会や「めんこいセミナー」の開催，また編集委員会では論文作成に係る支援窓口を開設しております．今後も皆様からのご要望等をお聞かせいただきながら，会員の研究成果の発表の機会，学びの場として皆様に身近に感じていただけるよう努めて参りたいと思います．

人々の健康と幸せを守る看護のさらなる発展に向け，皆様の日々の看護実践の中にある気づきや疑問をひもとき，看護のありようを伝えていく，その方法のひとつとして本学会誌をご活用いただければ幸いです．

平成 30 年 11 月

岩手看護学会理事
編集委員会副委員長　　蛎　﨑　奈津子
（岩手医科大学）

＜研究報告＞

看護学生における術後せん妄に対する態度

釜田明日香[1)]　小澤尚子[2)]
1）昭和大学藤が丘病院，2）常磐大学看護学部

要旨

【目的】本研究は，看護学生の術後せん妄に対する態度の傾向と，その関連する因子を明らかにすることである．

【方法】看護系 A 大学看護学部 4 年生の 73 名を対象に，術後せん妄に対する態度の傾向，および経験，教育，関心，知識，イメージ，能力との関連について，自記式質問紙調査を実施した．

【結果】術後せん妄に対する態度の傾向は，観察による患者の安全を重視する傾向があった．看護学生における術後せん妄に対する態度と関連がみられたのは，経験，関心，イメージ，能力であった．

【結論】看護学生の術後せん妄に対する理解を促進していくためには，周手術期看護学における術後せん妄の基本的知識の強化と，臨地実習では術後せん妄発症患者を受け持った体験や実践した看護を共有していく必要性が示唆された．

キーワード：術後せん妄，態度，看護学生

<Research Report>

Nursing Students' Attitudes Toward Postoperative Delirium

Asuka Kamata[1)], Naoko Ozawa[2)]
1）Showa University Fujigaoka Hospital，2） Faculty of Nursing, Tokiwa University

Abstract

Purpose: The aim of this study was to clarify trends in nursing students' attitudes toward postoperative delirium and related factors.

Methods: A self-administered questionnaire was conducted with 73 fourth-year students in the Faculty of Nursing at Nursing University A, with items covering trends in attitudes toward postoperative delirium, as well as relation with experiences, education, interest, knowledge, images and competence.

Results: The trend in attitudes toward postoperative delirium was the inclination to prioritize patient safety through observation. Factors related to attitudes toward postoperative delirium were experience, interest, images, and competence.

Conclusion: The present results suggest the need for strengthening of basic knowledge about postoperative delirium in perioperative nursing education, together with sharing during practical training of experiences and nursing practices involving patients with postoperative delirium, in order to promote understanding of postoperative delirium among nursing students.

Keywords: postoperative delirium，attitudes，nursing students

＜研究報告＞

介護老人保健施設における看護師・介護福祉士の看取り体験

日當沙代子[1)]　菊池和子[2)]
1）総合リハビリ美保野病院　2）岩手保健医療大学看護学部

要旨

介護老人保健施設（以下，老健とする）における看護師・介護福祉士の看取り体験を明らかにすることを目的とした．A県内の老健の看護師5名，介護福祉士8名に半構造化面接を行い，質的帰納的に分析した．その結果，2009年のターミナルケア加算新設以降も両職種は【看取りに引っかかりがある】と考え，【後悔】，【辛い】感情が生じたが，利用者と家族のための看護，介護をしたいと考えて対処行動をとり，互いの職種からの働きかけで考えたことが明らかになった．看護師は，精神的不安定な状態，また看取り経験が無く，職務経験が豊富ではないと考えられる両職種の精神面への支援が必要と示唆された．両職種のグリーフケア促進のためにデスカンファレンスの機会をもち，医療に関することを介護福祉士に伝達するなど，老健の看護師は同職種，介護福祉士と協働しながら，ケアの質的向上の調整役を求められていることが示唆された．

キーワード：看取り体験，看護師，介護福祉士，介護老人保健施設

<Research Report>

Experience in End-of-Life Care of Nurses and Care Workers in Geriatric Health Services Facility

Sayoko Hinata[1)]　Kazuko Kikuchi[2)]
1）Mihono General Rehabilitation Hospital
2）Iwate University of Health and Medical Sciences, Faculty of Nursing

Keywords: experience，end-of life care，nurse，care worker，geriatric healty service facility

＜研究報告＞

初妊婦の妊娠の受容を促進する他者との関係性における経験

金谷掌子
岩手県立大学看護学部

要旨

本研究の目的は，初妊婦が営んでいる日常生活において，初妊婦の妊娠の受容を促進する他者との関係性における経験を明らかにすることである．

A 県 2 市町村在住の初妊婦 7 名に，半構成的面接法を行った．逐語録から質的・帰納的に分析を行った．初妊婦が営んでいる日常生活において，初妊婦の妊娠の受容を促進する他者との経験として，【全面的に支えられる経験】【赤ちゃんの存在を認められる経験】【妊婦として他者と新たな関係性を構築する経験】【他者との関係性を肯定的に捉え感謝をする経験】をしていた．これらの経験には，“他者から支えられる側面”と“他者から認められる側面”，“他者へ肯定的な感情を抱く側面”が含まれており，初妊婦の妊娠の受容を促進するのみならず，他者との関係性の再構築のサインとして捉えられることや母親役割取得過程に影響を及ぼすことが推察された．

キーワード：初妊婦，妊娠の受容，他者との関係性, 日常生活における経験

<Research Report>

Experiences in Relationships with Others that Promote Acceptance of Pregnancy by Primigravidae

Shoko Kaneya
Iwate Prefectural University, Faculty of Nursing

Keywords: primigravidae, acceptance of pregnancy, relationship with others, experience in daily life

＜事例報告＞

妊娠後骨粗鬆症を併発した高年初産婦に対する看護

遊田由希子[1)]　中村美沙子[2)]　奥寺　忍[2)]
1）岩手医科大学看護学部（前　岩手県立中央病院）　2）岩手県立中央病院

要旨

本報告は，妊娠後骨粗鬆症の看護および，産後思うように身体回復が進まない高年初産婦の看護について考察することを目的とした．方法は，妊娠初期から出産後まで A 病院に通院・入院した高年初産婦 B さんの言動と看護について，電子カルテより抽出し経時的に整理した．妊娠 25 週の妊婦健診時に腰痛を訴え始めた B さん（40 代前半　初産婦）は，妊娠 28 週に入院．妊娠 31 週に骨粗鬆症による多発胸腰椎圧迫骨折と診断された．疼痛緩和にむけて看護を展開したが，いずれも効果はなく入院から一度も臥床できなかった．妊娠 36 週の腹式帝王切開術直前の身長は，非妊時から約 15㎝低くなっていた．手術後は腰痛と疲労，体力の低下が著しく，母親役割の獲得に難渋した．高齢妊産婦の看護については，妊娠後骨粗鬆症のリスクを念頭に入れた保健指導を行い，定期的に身長測定を行う必要がある．また，母親役割獲得に向けた育児支援は妊娠中から開始し，褥婦の疲労に対処しながらの育児を家族と共に考える事が重要である．

キーワード：妊娠後骨粗鬆症　高齢妊娠　腰痛　母親役割獲得　骨密度

<Case Report>

Nursing of Elderly Primipara with Late Pregnancy Osteoporosis

Yukiko Yuda[1)]　Misako Nakamura[2)]　Shinobu Okudera[2)]
1）Iwate Medical University School of Nursing　2）Iwate Prefectural Central Hospital

Keywords: Late pregnancy osteoporosis，Elderly primipara，Lower back pain，
Becoming a new mother，Bone density

＜めんこいセミナー＞

ネットを使用した文献検索

岩手医科大学附属図書館
川崎かおる

１．文献とは

◇情報の系統

研究活動 ⇒ 学会・研究会（会議録・抄録）
教科書・大系物 ⇐ レビュー ⇐ 原著論文誌

◇情報源の種類

・図書：スタンダードな知識
・学術論文：フレッシュな知識
・インターネット：雑多な情報　→　評価する力が必要

◇文献検索の前に

目的，条件，範囲などを調べる前に明確にしておく

２．図書

◇図書の構成

標題紙，目次，序文，本文，参考文献，索引，奥付

３．雑誌

◇雑誌の種類

・学術雑誌
　└ 学協会誌
　　└ 原著論文誌：研究論文を掲載
　　└ コミュニケーション誌：会員相互連絡
　└ 紀要：研究論文発表の場
・商業誌：症例，特集など臨床に役立つ内容を読者にわかりやすく紹介

◇雑誌論文の種類

・総説：あるテーマについて，既知の文献に基づいて総括的に論評した論文
・原著論文：独創性・新規性のある研究論文
・会議録：研究発表の要旨，抄録

４．文献の探し方

◇文献検索の方法

書誌・論文検索：どんな本・論文があるのか？

・テーマから探す：思いついたキーワード，辞書・教科書で調べたキーワード

・検索語の選び方：がん＞乳がん＞炎症性乳がん

範囲を広くすれば漏れが少ない（不要な文献も含まれる）

絞り込めば漏れが出る

所蔵検索：どこにあるのか？

・書誌事項から探す

図書：書名，著者，出版者，出版年

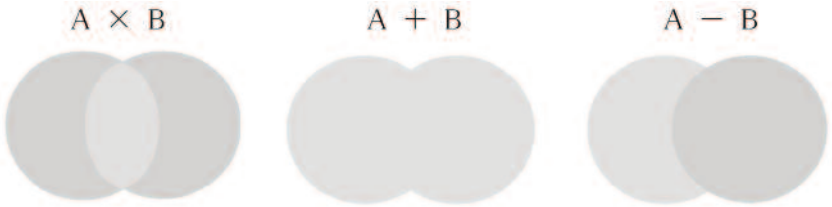
雑誌論文：著者，論題，雑誌，巻（号），ページ，出版年

◇検索の基本

・絞込み：検索結果が多すぎる場合，必要に応じて条件（論文の種類，発行年，研究デザインなど）を指定し絞り込む

・統制語：様々な表現のある医学用語をできるだけ統一して，検索しやすくまとめた用語

・論理演算



◇検索語の選び方

・検索語は単語で考える（いくつもの単語が含まれる単語は，分けるかどうか検討する）

・望ましい結果が出ているかどうか

・データベース検索の場合，統制語があるかどうか

◇文献の選び方

・必要なテーマに沿っているだけではなく，より信頼性の高い文献を探す（情報源の種類からある程度の判断が可能）

・手近なもので妥協せず，効率良く探す（適切なデータベース，サイト，図書館などを活用）

５．情報の入手先

◇図書館を活用する

・それぞれの特色により，使い分けると良い

・調べ方，探し方について相談できる

【参考サイト】2018 年 3 月現在

本を探す

・CiNiiBooks（大学図書館の本を探す）https://ci.nii.ac.jp/books/
・NDLSearch（国会図書館の本を探す）http://iss.ndl.go.jp/
・県内図書館横断検索（岩手県内の図書館の本を探す）
http://www.library.pref.iwate.jp/iliswing/network/page/We_kensaku/oudan_index.html
・カーリルローカル岩手（岩手県内の図書館の本を探す）https://calil.jp/local/iwate
・JMPA:日本医書出版協会（入手可能な医学書を探す）http://www.medbooks.or.jp/
・Books.or.jp:日本書籍出版協会（入手可能な本を探す）http://www.books.or.jp/

論文を探す

・CiNiiArticles（日本の論文を探す）https://ci.nii.ac.jp/ja
・NDLSearch（日本の記事・論文を探す）http://iss.ndl.go.jp/
・GoogleScholar（世界の論文を探す）https://scholar.google.co.jp/
・J-Stage（日本の科学技術論文を探す）https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/
・PubMed（世界の医学文献を探す）　https://www.ncbi.nlm.nih.gov/
・医中誌 Web（国内医学論文を探す［有料］）　http://login.jamas.or.jp/
・最新看護索引 Web（国内看護文献を探す［有料］）　https://jk04.jamas.or.jp/kango-sakuin/
・メディカルオンライン（電子文献提供サービス［有料］）http://www.medicalonline.jp/

・岩手医科大学附属図書館　http://www.lib.iwate-med.ac.jp/index.html

岩手看護学会 平成29年度めんこいセミナー

文献検索

岩手医科大学リポジトリ
広報大使 めいちゃん

2018.1.27
岩手医科大学附属図書館 川崎かおる
ヘルスサイエンス情報専門員（上級）

本日のメニュー

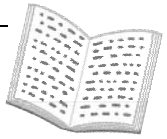
- 文献とは？
- 図書について
- 図書の探し方
- 雑誌について
- 雑誌論文の探し方
- まとめ

文献とは？

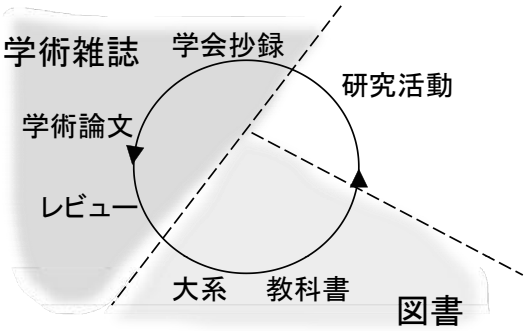
記録された文書 ＝ 資料

学術的には・・

図書、雑誌、新聞などに
掲載されている記事、
論文などの情報



医学情報の系統図



情報源の種類

◆**図書** ・・*スタンダードな知識*
辞書、大系・全書、専門書、教科書

◆**学術雑誌** ・・*フレッシュな知識*
雑誌・新聞、二次資料(抄録・索引誌)

◆インターネット ・・*雑多な情報*
選び、評価する力が必要

文献を探す前に整理しよう

目的、条件など

目的：研究、実務、教育 ・・・

条件：科学的根拠、事例・症例、
トレンド、知識 ・・・

探す範囲

年代、入手エリア、料金 ・・・

図　書

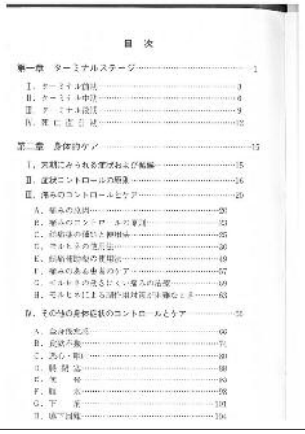
図書の構成

- 標題紙：書名、著者名、出版者
- 目次：内容の見出し
- 序文：内容の特色など
- 本文：内容
- 参考文献：参考にした図書や論文
- 索引：人名、事項などの目録
- 奥付：書名、著者名、出版年、出版社

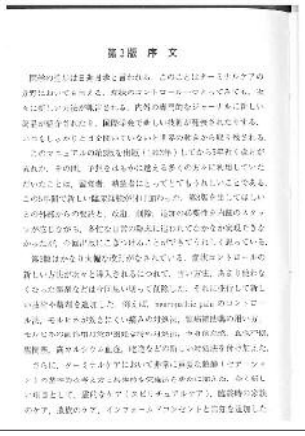
標題紙

ターミナルケア
マニュアル
第3版

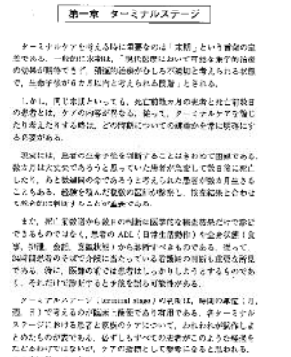
目次


目次

序文


第3版 序文

本文

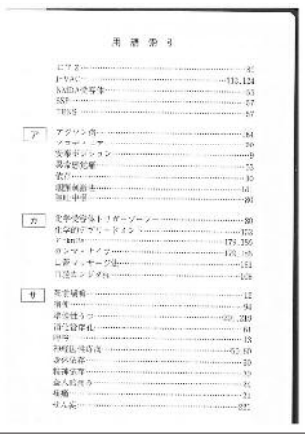

第一章 ターミナルステージ

文献欄

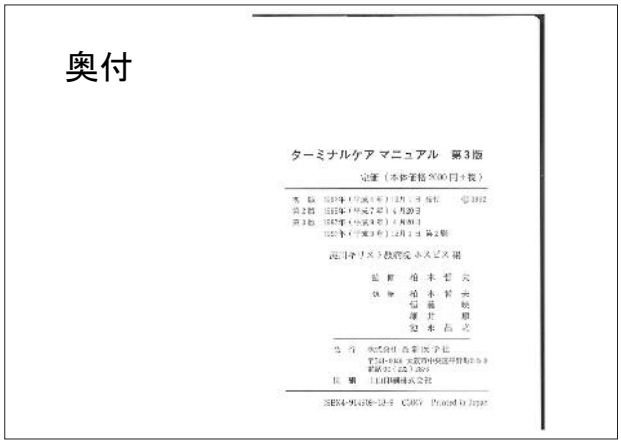
参考図書

参考文献

索引


用語索引

奥付


ターミナルケア マニュアル 第3版

図書の探し方

図書を探す

- どういう図書があるのか？
  → 書誌検索
  書名、著者、出版社、出版年・・
- どこにあるのか？
  → 所蔵検索
  図書館

図書の探し方　(1)テーマから探す

『周産期医療』
について調べたい

➡ **テーマに関する**
キーワードを集めよう

図書の探し方　(1)テーマから探す

①思いついたキーワードで検索

図書の探し方　(1)テーマから探す

②辞典・教科書などで調べる

周産期

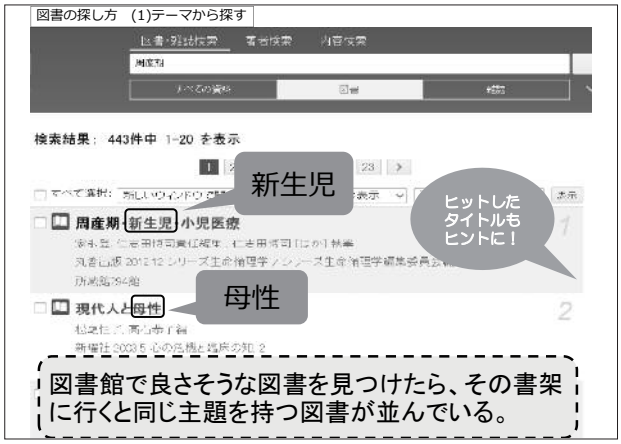
児の子宮外生活が可能である妊娠満22週以後から、出生7日までの期間。つまり**胎児期**から**新生児期**に至る母体からの独立を目標とした、児の一連の**適応期間**。
＝周生期。
→周産期管理。周産期死亡。

看護学大辞典　第６版（メジカルフレンド社）

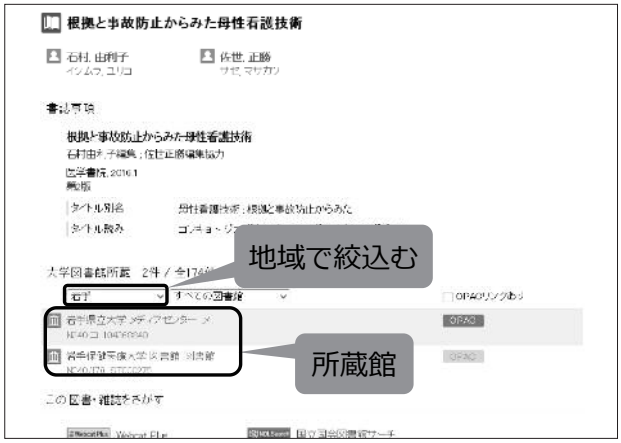
➡ **周生期、胎児期～新生児期**

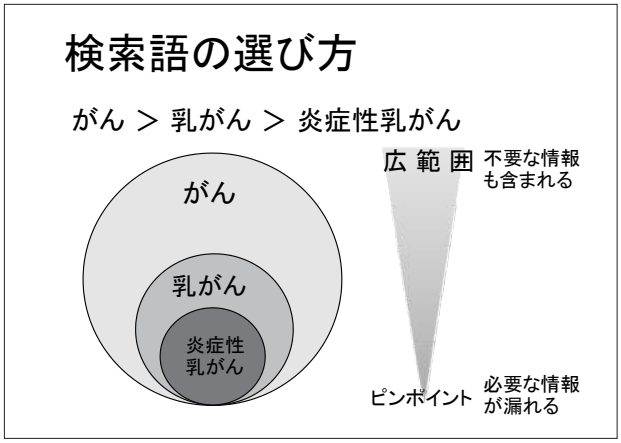
図書の探し方　(1)テーマから探す

図書の探し方　(1)テーマから探す



図書の探し方　(1)テーマから探す





図書の探し方　(2)書名から探す

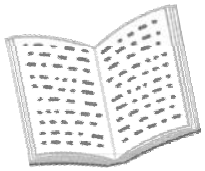
「グラウンデッド・セオリー：
看護の質的研究のために」
検索は単語で区切って！

➡ 検索バーに
「グラウンデッド」、
「看護」などを入力

主な検索サイト

- **CiNii Books**　大学図書館の本を探す
- **NDL Search**　国会図書館の本を探す
- **県内図書館横断検索**　岩手県内の図書館の本を探す
- **JMPA**（日本医書出版協会）　入手可能な医学書を探す
- **Books.or.jp**（日本書籍出版協会）入手可能な本を探す

雑　誌



雑誌の種類

- 商業誌：症例、特集など臨床に役立つ内容を読者にわかりやすく紹介

- 学協会誌
  原著論文誌：研究論文を掲載
  コミュニケーション誌：会員相互連絡
- 紀要：研究論文発表の場

雑誌論文の種類（医中誌We

"論文"ではない

◆**会議録**：研究発表の要旨、抄録。

◆**原著論文**：独創性・新規性のある研究論文。目的・対象・方法・結果・考察・結論・参考文献の形式になっている。

◆**総説**：あるテーマについて、既知の文献に基づいて総括的に論評した論文。

学術論文の構成

- 序文：目的や動機
- 対象・方法：再現性を保証するもの
- 結果：調査から得られた事実を表示
- 考察：他との比較、例外的結果など
- 結論：まとめ
- 参考文献：使用した文献リスト

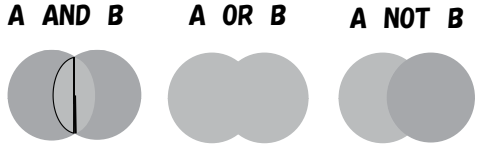
雑誌論文の探し方

文献検索データベース

＝ **雑誌論文**を探す

［和文］　医中誌Web
　　最新看護索引Web
［欧文］　CINAHL
　　PubMed　・・

《検索の基本》論理演算



AとB両方を含む　A × B

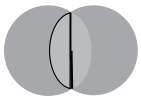
AまたはBを含む　A ＋ B

AからBを除く　A － B

高血圧のための減塩食

A:高血圧　B:減塩食

A AND B



高血圧 AND 減塩食

CiNii, Googleでは　高血圧 減塩食

血圧の異常（高血圧、低血圧など）について

A:高血圧　B:低血圧

A OR B

高血圧 OR 低血圧

《検索の基本》絞り込み

検索結果が多すぎる場合、
必要に応じて条件を指定し
絞り込む

論文の種類、雑誌分類、発行年、
副標目、研究デザインなど

《検索の基本》統制語

様々な表現のある医学用語をできるだけ
統一して、検索しやすくまとめた用語

統制語
（シソーラス用語）

医中誌の検索語

腫瘍

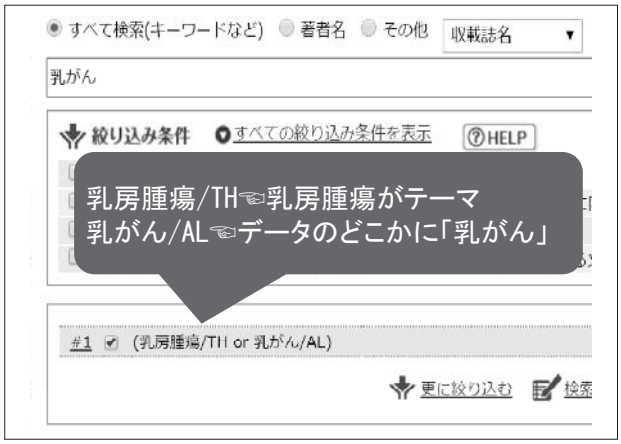
医中誌Web（医学中央雑誌）

日本の医学、歯学、薬学、看護学、
獣医学分野の文献を検索できる。

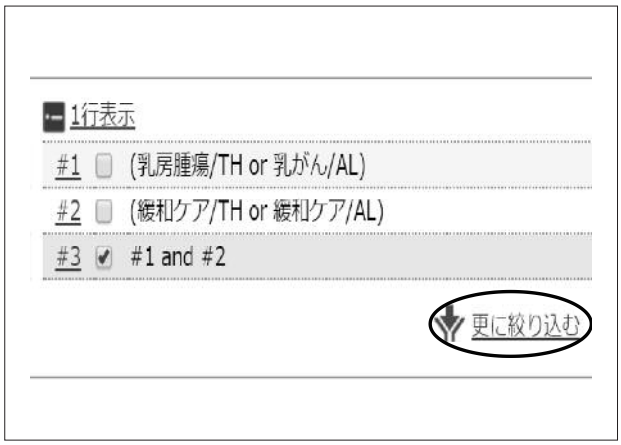
2018年1月現在
1970年以降の約7,000誌から
約1,193万件の論文情報を収録

検索項目の選択
医中誌Web
Japan Medical Abstracts Society
検索
書誌確認画面
すべて検索(キーワードなど)
著者名
その他
収載誌名
統制語
メジャー統制語
筆頭著者名
最終著者名
所属機関名
特集名
All Fields
タイトル+抄録
タイトル
抄録
発行元名
ISSN
研究デザイン
文献番号
絞り込み条件
すべての絞り込み条件を表示
本文あり
本文あり(無料)
抄録あり
最新の5年分に限定
原著論文
解説・総説
看護文献
治療に関する文献
INFORMATION

乳がんの緩和ケアについての文献を探す
医中誌Web
Japan Medical Abstracts Society
検索
書誌確認画面
すべて検索(キーワードなど)
著者名
その他
収載誌名
乳がん
絞り込み条件
すべての絞り込み条件を表示
HELP
本文あり
本文あり(無料)
抄録あり
最新の5年分に限定
OLD医中誌に限定
原著論文
解説・総説
会議録除く
看護文献
治療に関する文献
診断に関する文献
INFORMATION

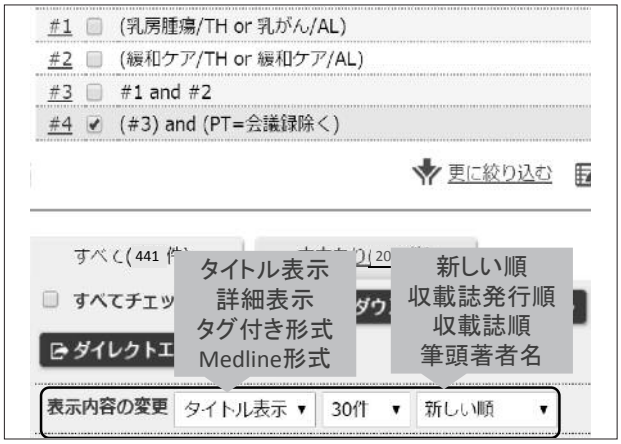

すべて検索(キーワードなど)
著者名
その他
収載誌名
乳がん
絞り込み条件
すべての絞り込み条件を表示
HELP
乳房腫瘍/TH☜乳房腫瘍がテーマ
乳がん/AL☜データのどこかに「乳がん」
#1 (乳房腫瘍/TH or 乳がん/AL)
更に絞り込む
検索

緩和ケア
絞り込み条件
すべての絞り込み条件を表示
HELP
本文あり
本文あり(無料)
抄録あり
最新の5年分に限定
原著論文
解説・総説
看護文献
治療に関する文献
1行表示
#1 (乳房腫瘍/TH or 乳がん/AL)
#2 (緩和ケア/TH or 緩和ケア/AL)
AND
履歴検索


1行表示
#1 (乳房腫瘍/TH or 乳がん/AL)
#2 (緩和ケア/TH or 緩和ケア/AL)
#3 #1 and #2
更に絞り込む

絞り込み条件
絞り込み実行

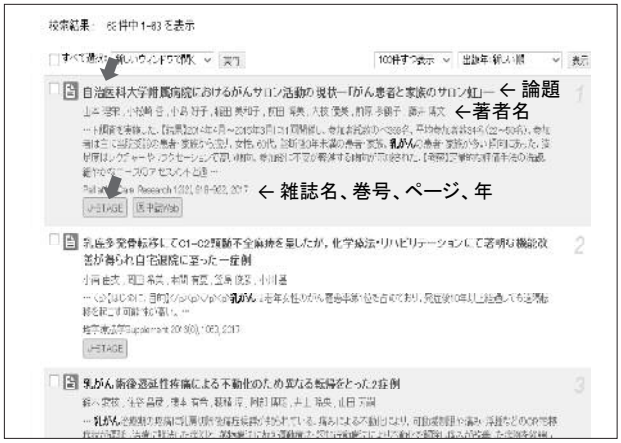
絞り込み実行
HELP
絞り込み条件
絞り込み実行

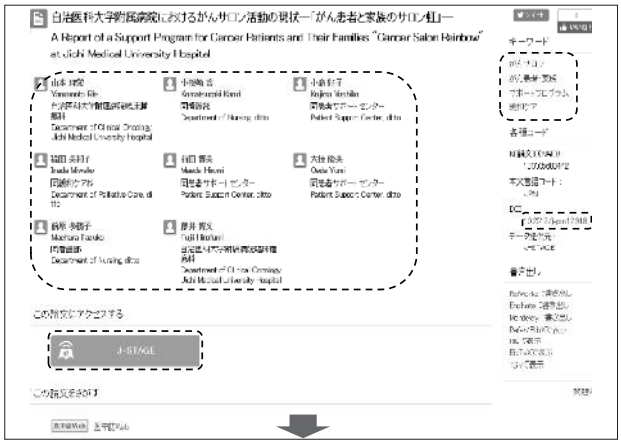

#1 (乳房腫瘍/TH or 乳がん/AL)
#2 (緩和ケア/TH or 緩和ケア/AL)
#3 #1 and #2
#4 (#3) and (PT=会議録除く)
更に絞り込む
すべてチェッ
ダイレクトエ
タイトル表示
詳細表示
タグ付き形式
Medline形式
新しい順
収載誌発行順
収載誌順
筆頭著者名
表示内容の変更
タイトル表示
30件
新しい順

メディカルオンライン

国内医学関連誌、電子書籍など様々な医療情報を提供するオンラインサービス。

2016年10月現在
815団体、1,256ジャーナルの論文情報を収録





主な検索サイト

- **CiNii Articles**　日本の論文を探す
- **NDL Search**　日本の記事・論文を探す
- **Google Scholar**　世界の論文を探す
- **J-Stage** 日本の科学技術論文を探す
- **メディカルオンライン**　電子文献提供サービス[有料]

まとめ

検索語の選び方

◆検索語は**単語**で考える

◆いくつもの単語が含まれる単語は、分けるかどうか検討する

望ましい結果が出ているかどうか

医中誌では「統制語があるかどうか」

検索の精度

◆絞り込む/検索語が多い

→　件数が減る ＝ 漏れが出る

◆絞り込まない/検索語が少ない

→　件数が多い ＝ ノイズが増える

内容と件数を見ながら判断する

文献の選び方

科学的根拠のある文献から！

◆情報源の信頼度
図書＞学術雑誌＞商業誌

◆論文の種類の信頼度
研究デザイン
総説＞原著論文＞会議録

◆出版年（鮮度）

図書館を使おう

◆公共図書館：県立、市立、町立図書館
蔵書以外にも、他館資料の取寄せなど

◆大学図書館：県立大、岩手医大、岩大・・
学術雑誌、データベースなど

・調べ方、探し方について相談できる
・それぞれの特色により、使い分ける

主な検索サイト

- **CiNii Books**　大学図書館の本を探す
- **県内図書館横断検索**　岩手県内の図書館の本を探す
- **カーリルローカル岩手**　岩手県内の図書館の本を探す

会　　告

第 12 回岩手看護学会学術集会のご案内

第 12 回岩手看護学会学術集会を下記の通り開催します．会員の皆様をはじめ多数のご参加をお待ちしています．

期　日：2019 年 10 月 5 日（土）
会　場：岩手県立大学　講堂・共通講義棟
会　長：平野　昭彦（岩手県立大学看護学部　基礎看護学講座）
テーマ：看護技術の安全性を考える（仮）

平成 30 年 11 月
第 12 回岩手看護学会学術集会
会長　平野昭彦
（岩手県立大学看護学部　基礎看護学講座）

平成 30 年度岩手看護学会第 1 回理事会議事録

日　　時：平成 30 年 4 月 14 日（土）13：00～15：00
場　　所：アイーナ 7 階　岩手県立大学アイーナキャンパス　学習室 3
出 席 者：三浦（幸），伊藤，岩渕，上林，蛎崎，菖蒲澤，鈴木，千田，松川，三浦（奈）〔書記〕
委 任 状：福島，石井，小山，菊池
配布資料：資料 1．平成 29 年度事業活動報告
資料 2．平成 29 年度めんこいセミナー活動報告
資料 3．会員数について
資料 4．平成 29 年度会計監査報告
資料 5．平成 29 年度編集委員会活動報告・平成 30 年度活動計画
資料 6．平成 30 年度広報委員会活動報告
資料 7．第 10 回岩手看護学会学術集会報告
資料 8．4 月退会者の承認について
資料 9．平成 30 年度事業計画（案）
資料 10．平成 30 年度収支予算（案）について
資料 11．評議員および理事の選挙について

1．開会
千田理事より，出席者 10 名，委任状 4 名にて理事会成立が宣言された．

2．理事長挨拶
福島理事長に代わり三浦副理事長より，挨拶があった．

3．議事
1）報告事項
(1) 庶務担当より
① 平成 29 年度事業活動報告について，岩渕理事より資料 1 について報告された．
② 平成 29 年度めんこいセミナー活動報告について，岩渕理事より資料 2 について報告された．
学術集会とは別日程での開催であり，参加者の 7 割は非会員であった．パソコンを実際に操作しながら基礎的な部分からご講義していただいたので，参加者の満足度が高かった．
(2) 会計担当より
平成 29 度会計監査報告について，資料 4 について松川理事より報告された．
監事に代わり，適正に処理されており監査終了した旨，松川理事より報告があった．
(3) 編集委員会より
上林編集委員長より，資料 5 について報告された．
(4) 広報委員会より
菖蒲澤広報委員長より，資料 6 について報告された．
(5) 第 10 回学術集会の報告
千田企画委員より，資料 7 について報告された．
参加者は 234 名であった．参加者アンケート（134 名回答内学生 80 名）の結果は，概ね好評であったが，演題が多く会場が複数であったため，聞けないものがあったとの意見があった．要望については，次学術集会に情報提供していく．
(6) 第 10 回学術集会の経過報告
会長代理として三浦委員（事務局）より報告された．

会長は高橋和眞氏（岩手県立大学基礎看護学講座），会期は平成 30 年 10 月 13 日（土），会場は岩手県立大学滝沢キャンパス，テーマ「一貫した卒前・卒後教育のあり方を考える」として開催される．

医師としては初の学術集会会長となるが，岩手県立大学に着任以来，質の高い卒前・卒後教育のあり方を模索してきた．毎年，岩手県内で開催される学会という強みを生かして，昨年に引き続き，教育に関するテーマを掲げた．演題募集期間は 5 月 21 日（月）～6 月 25 日（月）とした．皆様のご協力をお願いしたい旨，報告された．

2）審議事項

(1) 4 月退会者の承認について

岩渕理事より，資料 8 について説明された．平成 30 年 3 月退会 2 名，2 年間の会費未納による自動退会が 26 名となっている．すべて，承認された．

上記の承認を受け，会員状況について岩渕理事より資料 3 について説明された．4 月現在，227 名の会員数となっている．

(2) 平成 30 年度事業計画（案）

千田理事より，資料 9 について説明された．

① めんこいセミナーについて：冬開催を希望しない参加者が多い．しかし，1 月 2 月は他の学会の学術集会や研修会が少ないため，今年度も冬期間の開催を予定している．

② 学会誌について：オープンアクセス化に伴い，冊子体の発刊について審議した．

千田理事より，主に大学が運営する看護系学会の学会誌発刊状況について説明された．平成 29 年度に実施された冊子体送付に関する意向調査では，不要とする声が多かったが，回収率が低く属性も教員が多いなど偏った結果である可能性が示唆された．また，会員のメリットとして，やはり冊子があった方が良いとする意見もあった．現在は，掲載数をなるべく均等にするために受理日順の掲載としている．そのため，受理論文が多いと，発表までに時間を要する場合がある．審議の結果，以下の項目の費用対効果について編集委員会が情報収集し，次回の理事会にて引き続き検討する．

【1．受理された論文のインターネット発刊について】

●随時アップする（アップされた論文ごとに 1 号，2 号... となる）．

●現状通り，5 月および 11 月の定期にアップする．

●上記以外の間隔（例えば，2 か月に 1 回など）にアップする．

【2．冊子体について】

●廃止する．

●1 年間に 1 冊発刊する（随時アップされた論文（各号）の合冊となる）

●現状通り，2 号発刊する．

③ 広報について：学術集会での発表のために会員となり，その後は退会する傾向が続いている．岩手看護学会の会員であるということの意識付けや，学会誌への投稿促進のために，メール配信を検討する．会員へのメール配信にかかる費用を広報委員会で情報収集する．

④ その他について：会員であるメリットとして，学術集会の口演抄録集を参加しなくても見たいという希望があった．学会本部で口演抄録集を買い上げて，随時販売する案が検討されたが，販売数が不明であり在庫を抱えることになるため，行わないこととした．現在は当日に 1,000 円で販売しているため，必要な方が購入できるように周知していく．

(3) 平成 30 年度収支予算（案）

松川理事より，資料 10 について説明された．

当期収支差額が 95,000 円の赤字となっているが，当初から赤字予算では不適切ではないかとの意見があった．今年度は，理事会・評議員の選挙の年なので例年より多くかかることが説明された．

めんこいセミナーは，参加費と開催費のみで対応可能であるため，岩手県立大学看護実践センター事業からの共済補助金は，0 円とした．また，開催費は 100,000 円とした．

上記について，承認された．

(4) 第 13 回学術集会（平成 32 年度）会長の候補者について

第 1 候補として工藤朋子氏，第 2 候補として内海香子氏が推薦され，理事長が依頼することとした．

(5) 評議員および理事選挙について

石井選挙管理委員長に代わり三浦委員より，資料 11 について説明された．評議員は 7 月 14 日（土）の選挙結果を受け，7 月 17 日（火）18 時から現理事会を開催し，理事会推薦評議員を 10 名選出することとした．

4．その他

(1) 今後の会議開催について

理 事 会：7 月 17 日（火）18 時～，アイーナキャンパス学習室 3

評議員会：10 月 12 日（金）19 時 ～，アイーナキャンパス学習室 3

以上

（文責：三浦（奈））

平成 30 年度岩手看護学会第 2 回理事会議事録

日　　時：平成 30 年 7 月 17 日（火）18：00～19：20
場　　所：アイーナ 7 階　岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3
出 席 者：石井，伊藤，岩渕，上林，蛎崎，千田，福島，松川，三浦（幸），三浦（奈），
委 任 状：菖蒲澤，鈴木，小山，
欠　　席：菊池
配布資料：資料 1．平成 30 年度岩手看護学会評議員選挙結果報告書
資料 2．岩手看護学会評議員選挙に関する名簿
資料 3．7 月入退会者の承認について

1．開会
千田理事より，出席者 10 名，委任状 3 名にて理事会成立が宣言された．

2．理事長挨拶
福島理事長より開会の挨拶があった．

3．議事
1）報告事項
(1) 選挙管理委員会より
石井選挙管理委員長より，資料 1 に基づき平成 30 年度岩手看護学会評議員選挙結果として，新評議員 10 名の報告があった．

2）審議事項
(1) 選挙管理委員会より
三浦（奈）選挙管理委員より，新評議員 10 名からは内諾が得られていると説明があった．理事会推薦評議員（10 名）の選出について資料 2 の名簿から 10 名を検討した．
今後は，理事会推薦の 10 名が決まったところで，20 名の評議員に対して理事互選用の告示を行い，理事と監事を決定する．その後，次期理事・監事で理事会を開催し新体制での役割を決めることを確認した．

4．その他
(1) 会員の入退会について
千田理事より，資料 3 について説明があり，全員承認された．
(2) 第 13 回学術集会（平成 32 年度）会長の候補者について
福島理事長より，前回理事会で第 1 候補として工藤朋子氏，第 2 候補として内海香子氏が推薦されたことを受け，依頼中であると報告があった．
(3) 第 11 回学術集会の経過報告
事務局の三浦（奈）委員より報告された．
演題は 22 演題，特別講演は新人看護師研修の自治医科大学附属病院の取り組みに決定した．また，今回は学術集会に最後まで参加していただけるように，午後の流れはシンポジウムの後に一般演題発表とする順番に変更した．現在事前受付期間中であるため，周囲にお知らせ願いたい．
(4) 第 12 回学術集会の経過報告
事務局の三浦（奈）委員より，平成 31 年 10 月頃に平野昭彦会長の下で開催される学術集会の日程を決めるにあたり県内開催の学会等あればお知らせいただきたいと説明があった．
(5) 今後の会議開催について
理事会（メール会議）：9 月 1 日の評議員互選による開票結果の報告・承認

理 事 会：9 月 18 日（火）18 時～　岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 2
議　事：次期理事・監事の選出結果報告，総会議事･資料の確認等
評議員会：10 月 12 日（金）18 時～　岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3
議事：次期理事・監事の選出結果と新理事長・副理事長の報告，承認等
総　　会：10 月 13 日（土）12 時～　岩手県立大学講堂
議事：次期理事・監事の選出結果と新理事長・副理事長の報告・承認等

＊次年度新理事の役割等の決定は，10 月 12 日までに，新理事で話し合いを持ち決定する予定．新理事の召集日時の調整は現庶務が担当する．

以上
（文責：岩渕）

平成 30 年度岩手看護学会第 3 回理事会議事録

日　　時：平成 30 年 9 月 18 日（火）18：00〜18：30
場　　所：アイーナ 7 階　岩手県立大学アイーナキャンパス　学習室 2
出 席 者：福島，石井，伊藤，上林，菖蒲澤，鈴木，千田，松川，三浦（奈），小山，菊池，岩渕，〔書記〕
委 任 状：蛎崎，
欠　　席：三浦（幸）
配布資料：資料 1．庶務報告（会員状況および入退会）
資料 2．編集委員会報告
資料 3．広報委員会報告
資料 4．選挙管理委員会報告
資料 5．9 月入退会者の承認について
資料 6．平成 31 年度事業方針（案）
資料 7．評議員会次第（案）
資料 8．総会次第（案）

1．開会
千田理事より，出席者 12 名，委任状 1 名にて理事会成立が宣言された．

2．理事長挨拶
福島理事長より，挨拶があった．

3．議事
1）報告事項
(1) 庶務担当より
9 月入退会者の承認を受け，会員状況について岩渕庶務担当理事より資料 1 について説明された．9 月現在，257 名の会員数となっている．平成 30 年度の入会者は 37 名と学術集会発表のために伸びている．現在の会費未納者は平成 29 年度 67 名，30 年度 158 名であり，住所不明者が 5 名含まれている．
(2) 編集委員会より
上林編集委員長より，資料 2 について報告された．
(3) 広報委員会より
菖蒲澤広報委員長より，資料 3 について報告された．
(4) 選挙管理委員会より
石井選挙管理委員長より，資料 4 について報告された．
(5) 第 11 回学術集会の報告
三浦事務局長より，演題数 22 題の申し込みがあり，現在準備を進めていることが報告された．多くの皆様のご参加をお願いしたい．
2）審議事項
(1) 9 月退会者の承認について
岩渕庶務担当理事より，資料 5 について説明された．平成 30 年 9 月入会 15 名，退会 4 名について審議し，すべて承認された．
(2) 平成 31 年度事業方針（案）
岩渕庶務担当理事より，資料 6 について説明された．学会誌は論文数が多いことから現状通り，年 2

回発刊とする．また，第 12 回学術集会は 2019 年 10 月 12 日（土）の開催となることが説明され，すべて承認された．

(3) 第 13 回学術集会（平成 32 年度）会長の候補者について

福島理事長より工藤朋子氏（岩手県立大学）に依頼中であることが報告された．

(4) 評議員会次第（案）

岩渕庶務担当理事より，資料 7 について説明があり，承認された．

(5) 総会次第（案）

岩渕庶務担当理事より，資料 8 について説明があり，承認された．議事録署名人は，当日の参加の会員の状況を見て依頼する予定である．議長は会則により学術集会大会長と定められているため，高橋大会長を議長として推薦する．

4．その他

・めんこいセミナー講師

千田庶務担当理事より，説明があった．本セミナーは臨床と研究をつなぐ基本的な内容で例年 1 ～2 月の時期に，非会員から参加費を負担していただき実施している．この時期は研究に関する研修はないこと，次年度の研究を考える上では適している．昨年は「文献検索」をテーマに開催した．今年度も新テーマを設けて実施予定であるため，テーマ・講師の推薦があれば提案してほしい．

・今後の会議開催について

評議員会：10 月 12 日（金）18 時～　岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

総　　会：10 月 13 日（土）12 時～　岩手県立大学講堂

4 月初めに理事会を開催する予定．

以上

（文責：岩渕）

平成 30 年度岩手看護学会評議員会議事録

日　　時：平成 30 年 10 月 12 日（金）18：00～19：10
場　　所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）7 階
　　岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3
出 席 者：福島，岩渕，上林，蛎崎，菊池，工藤，佐々木，千田，畠山，松川，三浦（幸）
委 任 状：石井，伊藤，小山，菖蒲澤，鈴木，武田，三浦（奈）
欠 席 者：アンガホッファ，土屋，
配布資料：資料 1．理事会報告
　　資料 2．庶務報告（会員状況）
　　資料 3．編集委員会報告
　　資料 4．広報委員会　活動報告
　　資料 5．選挙管理委員会報告
　　資料 6．平成 29 年度事業活動報告
　　資料 7．平成 29 年度収支決算報告（案）および監査報告
　　資料 8．平成 30 年度予算（案）
　　資料 9．平成 30 年度事業計画（案）
　　資料 10．平成 31 年度事業方針（案）

1．開会
千田庶務担当理事より，評議員 20 名の内，出席 11 名，委任状 7 名，欠席 2 名であり，会則第 20 条 3 項に則り，評議員会の成立が宣言された．

2．理事長挨拶
福島理事長より挨拶があった．

3．報告
1）理事会報告
千田庶務担当理事より資料 1 に基づき報告された．

2）庶務報告
岩渕庶務担当理事より資料 2 に基づき，平成 30 年 10 月 12 日現在，会員 257 名であることが報告された．平成 29 年度の未納が多く 2 年未納の自動退会者につながることが懸念される．会費未納者には，学会誌発送時と共に会費納入のお知らせを送付し，年会費の納入を呼び掛けている．

3）編集委員会活動報告
上林編集委員長より資料 3 に基づき報告された．論文投稿を促進するためのチラシを第 11 回学術集会中に配布予定である．5 月に第 12 巻 1 号を発行し，現在 2 号の編集作業中である．さらに投稿を呼びかけるため，チラシや入会申込書等を配布する予定である．

4）広報委員会活動報告
千田庶務担当理事より資料 4 に基づき報告された．学会 HP やメールアカウントの管理，学術集会のホームページの作成を行っている旨，報告された．

5）選挙管理委員会報告
千田庶務担当理事より資料 5 に基づき，評議員および理事・監事選挙結果について報告された．

４．議事

１）平成 29 年度事業活動報告（案）

千田庶務担当理事より，資料 6 に基づき説明があり，承認された．

２）平成 29 年度収支決算報告および会計監査（案）

松川会計担当理事より，資料 7 に基づいて説明があり，承認された．

３）平成 30 年度予算（案）

松川会計担当理事より，資料 8 に基づいて説明があり，承認された．

４）平成 30 年度事業計画（案）

千田庶務担当理事より，資料 9 について説明があり，承認された．めんこいセミナーは，別日開催で検討中である．オープンアクセス化に伴う学会誌最新掲載論文のアップについては検討し，次期役員に引き継いでいく予定である．

５）平成 31 年度事業方針（案）

千田庶務担当理事より，資料 10 について説明があり，承認された．第 12 回学術集会は平野昭彦氏（岩手県立大学）が大会長を務める．

６）2019 年度 - 2021 年度理事・評議員・監事（案）

千田庶務担当理事からの報告のとおり，異議なく承認された．

７）2019 年度 - 2021 年度理事長および副理事長（案）

福島理事長より，新体制について以下のとおり報告があった．異議なく，承認された．

理事長：内海香子氏，副理事長：三浦幸枝氏，庶務：小嶋美沙子氏，三浦奈都子氏，渡辺幸枝氏，会計：大谷良子氏，高橋有里氏，編集委員長：工藤朋子氏，副編集委員長：及川紳代氏，鈴木美代子氏，広報委員長：箱石恵子氏，副広報委員長：アンガホッファ司寿子氏．

８）岩手看護学会第 13 回学術集会（平成 31 年度）会長の選出について

福島理事長より，会則の第 15 条に学術集会会長は，評議員会で会員の中から選出し総会の承認を得ることになっているが，ぎりぎりまで交渉したが見つからなかったため，学術集会長の選出を理事・評議員会に一任して総会に諮る旨の提案があり，異議なく承認された．学術集会の会長の選出について検討した．会則には再任を認めないとあるが限界が見られること，学会への貢献度が大きい人が良いのではないか，会員の中からでは限界があることなどの意見があった．

５．その他

・第 12 回学術集会会期および会場について

福島理事長より， 2019 年 10 月 5 日（土）に岩手県立大学にて開催することが報告された．

６．閉会

〔書記：岩渕〕

平成30年度　岩手看護学会総会議事録

日時：平成30年10月13日（土）12：05～12：40
場所：岩手県立大学　講堂
配布資料：1. 理事会・評議員会報告
2. 庶務報告
3. 編集委員会報告
4. 広報委員会報告
5. 選挙管理委員会報告
6. 平成29年度事業報告（案）
7. 平成29年度収支決算報告（案）および会計監査報告
8. 平成30年度事業計画（案）
9. 平成30年度予算（案）
10. 平成31年度事業方針（案）

1. 開会

福島理事長より，出席者14名，委任状92名，合計106名，現在の会員数257名であり，会員の10分の1以上の出席または委任状があることから会則第21条3項に基づき学会総会が成立することが確認された.

2. 理事長挨拶

福島理事長より挨拶があった.

3. 議長選出

福島理事長の進行により，会則第21条1項に基づき議長は第11回岩手看護学会学術集会会長の高橋和眞氏が議長として選出された.

4. 議事録署名人選出

事務局から高橋有里氏（岩手県立大学），及川紳代氏（岩手県立大学）が推薦され，承認された.

5. 報　告

1）理事会・評議員会報告

千田理事より資料1に基づき，平成30年度第1回理事会，第2回理事会，評議員会の開催について報告された.

2）庶務報告

千田理事より資料2に基づき，平成30年10月12日現在の会員数は257名であることが報告された．年会費2年未納による自動退会者も多い．会費未納者には，学会誌発送時と共に会費納入のお知らせを送付し，会員継続の働きかけを行う旨が報告された.

3）平成30年度事業経過報告

(1) 第11回岩手看護学会学術集会

学術集会会長の高橋和眞氏より，本日第11回学術集会を開催している旨が報告された.

(2) 編集委員会

上林編集委員長より資料3に基づき報告された．論文投稿を促進するためのチラシを第11回学術集会中に配布予定である．5月に第12巻1号を発行し，現在2号の編集作業中である．さらに投稿を呼びかけるため，チラシや入会申込書等を配布する予定である.

(3) 広報委員会

菖蒲澤広報委員長より資料4に基づき報告された．学会HPやメールアカウントの管理，学術集会のホー

ムページの作成を行っている旨、報告された.

(4) 選挙管理委員会報告

石井選挙管理委員委員長より資料5に基づき，評議員および理事・監事選挙結果について報告された.

以上，報告事項1）から3）まで異議なく承認された.

6. 議　事

1）平成29年度事業報告（案）

千田理事より資料6に基づき報告され，異議なく承認された.

2）平成29年度収支決算（案）および会計監査報告

松川理事より資料7に基づき平成29年度収支決算（案）について報告された．続いて菊池監事より監査を行い適正に執行されていた旨が報告された．収支決算および会計監査について，異議なく承認された.

3）平成30年度事業計画（案）

千田理事より資料8に基づき説明され，異議なく承認された.

4）平成30年度収支予算（案）

松川理事より資料9に基づき説明され，異議なく承認された.

5）平成31年度事業方針（案）

千田理事より資料10に基づき説明され，異議なく承認された.

6）2019年度 - 2021年度理事・評議員・監事（案）

福島理事長より資料5に基づき、理事会推薦の評議員が説明され，異議なく承認された．また，理事・監事についても異議なく承認された.

7）2019年度 - 2021年度理事長および副理事長（案）

福島理事長より第9条に基づき次期理事の互選により内海香子氏（岩手県立大学）が理事長に選出され，三浦幸枝氏（岩手医科大学）が副理事長に指名されたことが説明され，異議なく承認された.

8）岩手看護学会第13回学術集会（平成31年度）会長の選出について

福島理事長より，会則の第15条に学術集会会長は，評議員会で会員の中から選出し総会の承認を得ることになっているが，ぎりぎりまで交渉したが見つからなかったため，学術集会長の選出を理事・評議員会に一任して欲しいことが説明され，異議なく承認された.

7. 第12回学術集会会長挨拶

第12回会長の平野昭彦氏より，2019年10月5日（土）に岩手県立大学にて開催することが報告された.

8. 閉会

この議事録が正確であることを証するため，議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名捺印する.

平成30年 10 月 31 日 議長： 高橋 和巳 印

平成30年 10 月 30 日 議事録署名人： 高橋 有里 印

平成30年 10 月 29 日 議事録署名人： 及川 紳代 印

平成 30 年度　岩手看護学会総会　次第

日　　時：平成 30 年 10 月 13 日（土）12：00～12：30
場　　所：岩手県立大学共通講義棟　講堂
配布資料：資料 1．理事会・評議員会報告
資料 2．庶務報告
資料 3．編集委員会報告
資料 4．広報委員会報告
資料 5．選挙管理委員会報告
資料 6．平成 29 年度事業報告（案）
資料 7．平成 29 年度収支決算（案）報告および会計監査報告
資料 8．平成 30 年度事業計画（案）
資料 9．平成 30 年度予算（案）
資料 10．平成 31 年度事業方針（案）

1．開会
2．理事長挨拶
3．議長の選出
4．議事録署名人の選出
5．報　告
　1）理事会・評議員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1
　2）庶務報告・・資料 2
　3）平成 30 度事業経過報告
　　(1) 第 11 回岩手看護学会学術集会について
　　(2) 編集委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 3
　　(3) 広報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 4
　　(4) 選挙管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 5
6．議　事
　1）平成 29 年度事業報告（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 6
　2）平成 29 年度収支決算（案）および平成 29 年度会計監査報告　・・・・・・・・・・・・・・・資料 7
　3）平成 30 年度事業計画（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 8
　4）平成 30 年度予算（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 9
　5）平成 31 年度事業方針（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 10
　6）2019 年度 - 2021 年度理事・評議員・監事（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 5
　7）2019 年度 - 2021 年度理事長および副理事長（案）
　8）第 13 回岩手看護学会学術集会会長の選出について
　9）その他
7．第 12 回岩手看護学会学術集会会長挨拶
8．閉会

資料 1

理事会・評議員会報告

Ⅰ　理事会

第 1 回理事会

１．平成 30 年 4 月 14 日（土）13：00〜15：00

２．会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

３．出席者：10 名，委任状提出者：4 名

４．審議事項

１）4 月退会者の承認について

２）平成 30 年度事業計画（案）

３）平成 30 年度収支予算（案）について

４）第 13 回学術集会（平成 32 年度）会長の候補者について

５）評議員および理事の選挙について

６）その他

・今後の会議について

第 2 回理事会

１．平成 30 年 7 月 17 日（火）18：00〜19：20

２．会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

３．出席者：10 名，委任状提出者：3 名，欠席 1 名

４．審議事項

１）評議員選挙結果及び理事会推薦評議員について

２）その他

・入退会者の承認（案）について

・第 13 回学術集会（平成 32 年度）会長の候補者について

・第 11 回学術集会の経過報告

・第 12 回学術集会の経過報告

・今後の会議について

第 3 回理事会

１．平成 30 年 9 月 18 日（火）18：00〜18：30

２．会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

３．出席者：12 名，委任状提出者：1 名，欠席 1 名

４．審議事項

１）9 月入退会者の承認について

２）平成 31 年度事業方針（案）

３）第 13 回学術集会会長の選出について（進捗）

４）評議員会次第（案）

５）総会次第（案）

６）その他

・めんこいセミナー講師について

資料 1

Ⅱ　評議員会

１．平成 30 年 10 月 12 日（金）18：00～

２．アイーナ 7 階　岩手県立大学アイーナキャンパス　学習室 3

３．出席者：11 名，委任状提出者：7 名，欠席 2 名

４．審議事項

１）平成 29 年度事業報告（案）について

２）平成 29 年度収支決算報告および会計監査（案）

３）平成 30 年度予算（案）

４）平成 30 年度事業計画（案）

５）平成 31 年度事業方針（案）

６）2019 年度 - 2021 年度理事・評議員・監事（案）

７）2019 年度 - 2021 年度理事長および副理事長（案）

８）第 13 回学術集会会長の選出

資料 2

岩手看護学会　庶務報告　会員状況

1．会員数

2018 年 10 月 12 日現在　会員数　257 名

入会者内訳

平成 19 年度	72 名
平成 20 年度	76 名
平成 21 年度	35 名
平成 22 年度	27 名
平成 23 年度	29 名
平成 24 年度	46 名
平成 25 年度	42 名
平成 26 年度	42 名
平成 27 年度	33 名
平成 28 年度	79 名
平成 29 年度	47 名
平成 30 年度	37 名

退会者内訳

平成 20 年度	1 名
平成 21 年度	28 名
平成 22 年度	15 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 1 名）
平成 23 年度	23 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 14 名）
平成 24 年度	21 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 13 名）
平成 25 年度	38 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 21 名）
平成 26 年度	47 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 40 名）
平成 27 年度	40 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 33 名）
平成 28 年度	41 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 30 名）
平成 29 年度	47 名（内，年会費 2 年滞納にて理事会承認の退会者 26 名）
平成 30 年度	6 名

2．会費未納者

平成 29 年度	67 名
平成 30 年度	158 名

資料 3

平成 30 年度　編集委員会活動報告

平成 30 年度　委員一覧

委 員 長	上林美保子（岩手県立大学）
副委員長	蛎崎奈津子（岩手医科大学）
	鈴木美代子（岩手県立大学）
委　　員	及川　紳代（岩手県立大学）
	蘇武　彩加（岩手県立大学）
	田口美喜子（岩手県立大学）
	鳥居奈津子（岩手県国民健康保険団体連合会）
	中野千恵子（岩手県立大学）
	箱石　恵子（岩手県立遠野病院）
	藤澤　由香（岩手県立大学）

平成 30 年 4 月 1 日～現在までの活動報告

4 月 14 日	第 1 回編集委員会
5 月 31 日	岩手看護学会誌第 12 巻第 1 号　発行

今後の予定

10 月 13 日	投稿促進に向けてのチラシ配布（於：第 11 回学術集会）
11 月 30 日	岩手看護学会誌第 12 巻第 2 号　発行予定
2 月中旬	第 2 回編集委員会
3 月中旬	岩手県立大学大学院看護学研究科修了生へ学会誌・投稿促進チラシ・入会案内など配布

資料 4

平成 30 年度　広報委員会活動報告

平成 30 年度　委員一覧

委 員 長	菖蒲澤幸子（日本赤十字秋田看護大学）
副委員長	石井真紀子（岩手保健医療大学）
委　　員	遠藤　良仁（岩手県立大学）
	木地谷祐子（岩手県立大学）
	佐藤　史教（岩手県立大学）
	木村　　怜（岩手県立大学）

平成 30 年度の活動経過

１．今年度活動計画の策定（メール審議）

２．学会 HP の更新・管理

３．メールアカウントの管理

４．第 11 回　岩手看護学会学術集会 HP の作成・管理の補助

資料 5–1

平成 30 年度岩手看護学会評議員選挙結果報告書

現評議員の平成 31 年 3 月 31 日付の任期満了に伴い，学会会則第 11 条の評議員選出規定にもとづき行った選挙結果について，下記のように報告いたします．

記

1. 選挙人：141 名（うち被選挙人：88 名）
2. 投票数：56 通（投票率 39.7%）
3. 有効投票数：54 通（有効投票率 96.4%）
   無効の内容：投票用紙が密封用封筒に封入されていなかったもの 1 通
   密封用封筒が返信用封筒に封入されていなかったもの 1 通
4. 開票日：平成 30 年 7 月 14 日
5. 開票開始時刻：9：44
6. 開票終了時刻：10：47
7. 開票結果
   新評議員（五十音順，敬称略）

- 内海　香子　（岩手県立大学）
- 菊池　和子　（岩手保健医療大学）
- 工藤　朋子　（岩手県立大学）
- 小嶋　美沙子（岩手県立大学）
- 鈴木　美代子（岩手県立大学）
- 高橋　有里　（岩手県立大学）
- 野口　恭子　（岩手県立大学）
- 平野　昭彦　（岩手県立大学）
- 三浦　奈都子（岩手県立大学）
- 三浦　幸枝　（岩手医科大学）

以上

上記，選挙結果に相違がないことを認めます．

平成 30 年 7 月 14 日

岩手看護学会選挙管理委員
委員長　　石井　真紀子
委員　　アンガホッファ　司寿子
委員　　三浦　奈都子

資料 5–2

2019 年度–2021 年度　岩手看護学会評議員名簿

氏　　名	所　　属
1. アンガホッファ　司寿子	(岩手県立大学)
2. 伊藤　　收	(岩手県立大学)
3. 内海　香子	(岩手県立大学)
4. 及川　紳代	(岩手県立大学)
5. 大谷　良子	(岩手保健医療大学)
6. 菊池　和子	(岩手保健医療大学)
7. 工藤　朋子	(岩手県立大学)
8. 小嶋 美沙子	(岩手県立大学)
9. 佐藤　史教	(岩手県立大学)
10. 白畑　範子	(岩手県立大学)
11. 鈴木美代子	(岩手県立大学)
12. 高橋　有里	(岩手県立大学)
13. 竹内　可愛	(岩手医科大学附属病院)
14. 野口　恭子	(岩手県立大学)
15. 箱石　恵子	(岩手県立遠野病院)
16. 平野　昭彦	(岩手県立大学)
17. 三浦奈都子	(岩手県立大学)
18. 三浦　幸枝	(岩手医科大学)
19. 毛利　明子	(盛岡赤十字病院)
20. 渡辺　幸枝	(岩手県立大学)

(五十音順，敬称略)

資料 5–3

平成 30 年度岩手看護学会理事・監事選挙結果報告書

現理事・監事の平成 31 年 3 月 31 日付の任期満了に伴い，学会会則第 9 条にもとづき行った選挙結果について，下記のように報告いたします.

記

1. 選挙人：20 名（うち被選挙人：20 名）
2. 投票数：14 通（投票率 70%）
3. 有効投票数：13 通（有効投票率 92.9%）
   無効の内容：返信用封筒に住所・氏名の記載がなかったもの 1 通
4. 開票日：平成 30 年 9 月 1 日
5. 開票開始時刻：9：05
6. 開票終了時刻：9：42
7. 開票結果

新理事（五十音順，敬称略）

- アンガホッファ　司寿子　（岩手県立大学看護学部）
- 内海　香子　（岩手県立大学看護学部）
- 及川　紳代　（岩手県立大学看護学部）
- 大谷　良子　（岩手保健医療大学看護学部）
- 工藤　朋子　（岩手県立大学看護学部）
- 小嶋 美沙子　（岩手県立大学看護学部）
- 鈴木　美代子　（岩手県立大学看護学部）
- 高橋　有里　（岩手県立大学看護学部）
- 箱石　恵子　（岩手県立遠野病院）
- 三浦 奈都子　（岩手県立大学看護学部）
- 三浦　幸枝　（岩手医科大学看護学部）
- 渡辺　幸枝　（岩手県立大学看護学部）

新監事（五十音順，敬称略）

- 白畑　範子　（岩手県立大学看護学部）
- 平野　昭彦　（岩手県立大学看護学部）

以上

上記，選挙結果に相違がないことを認めます.

平成 30 年 9 月 1 日

岩手看護学会選挙管理委員
委員長　石井　真紀子
委員　アンガホッファ　司寿子
委員　三浦　奈都子

資料 6

平成 29 年度　事業活動報告

1．学会誌の刊行
第 11 巻第 1 号　2017 年 5 月 30 日発刊
第 11 巻第 2 号　2017 年 11 月 30 日発刊

2．第 10 回学術集会の開催
期日：平成 29 年 10 月 7 日（土）
会場：岩手県立大学　講堂・共通講義棟
会長：松浦眞喜子（岩手県立中央病院）
メインテーマ：「岩手の看護の質！開来－教育と臨床の融合－」

3．総会の開催
期日：平成 29 年 10 月 7 日（土）12：10～12：40
場所：岩手県立大学

4．めんこいセミナーの開催
期日：平成 30 年 1 月 27 日（土）
1 回目　10：00～12：00、2 回目　13：30～15：30
場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）7 階
岩手県立大学アイーナキャンパス　パソコン演習室
講師：川崎かおる　氏（岩手医科大学附属図書館　室長補佐）

5．広報活動；HP 運営管理等
学会 HP の更新等の運営を行った。

6．運営に関する会議
1）理事会
第 1 回理事会（議事録は学会誌第 11 巻第 2 号に掲載）
1．日時：平成 29 年 4 月 8 日（土）13：00～15：00
2．会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3
3．審議事項
1）4 月退会者の承認について
2）平成 29 年度事業計画（案）
3）平成 29 年度収支予算（案）について
4）第 12 回学術集会(平成 31 年度)会長の候補者について
5）ホームページ管理について
6）その他
・今後の会議について

資料 6

第 2 回理事会（議事録は学会誌第 11 巻第 2 号に掲載）

１．平成 29 年 9 月 16 日（土）10：00〜11：45

２．会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

３．審議事項

１）平成 30 年度事業方針（案）

２）第 12 回学術集会会長の選出について

３）評議員会次第（案）

４）総会次第（案）

５）会員入退会について

６）その他

・めんこいセミナー講師および内容について

２）評議員会（議事録は学会誌第 11 巻第 2 号に掲載）

１．日時：平成 29 年 10 月 6 日（金）19：00〜21：00

２．場所：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 3

３．審議事項

１）平成 28 年度事業報告（案）

２）平成 28 年度収支決算（案）および会計監査（案）について

３）平成 29 年度予算（案）

４）平成 29 年度事業計画（案）

５）平成 30 年度事業方針（案）

６）第 12 回学術集会（平成 31 年度）会長候補者について

資料７

平成29年度岩手看護学会収支決算報告(案)

Ⅰ　収入の部

費　目	平成29年度予算	平成29年度決算	増減	備　考
1　会費	1,100,000	1,015,000	△ 85,000	5,000円×203人
2　共催補助金	80,000	45,000	△ 35,000	看護実践研究センター事業からの補助
3　事業収入	50,000	233,170	183,170	めんこいセミナー 2,000円×非会員15人 第10回学術集会寄付金203,170円
4　雑収入	3,000	3,035	35	著者抄録使用料3,024円、預金利子11円
(A)当期収入合計	1,233,000	1,296,205	63,205	
(B)前期繰越収支差額	1,855,593	1,855,593	0	
(C)合計　(A)+(B)	3,088,593	3,151,798	63,205	

Ⅱ　支出の部

費　目	平成29年度予算	平成29年度決算	増減	備　考
1　編集委員会活動費	680,000	471,422	△ 208,578	学会誌発行2回(印刷代、英文タイトル校閲等)、編集委員会2回(旅費、茶菓等)
2　学術集会開催助成費	50,000	50,000	0	第10回学術集会50,000円
3　めんこいセミナー開催費	100,000	74,252	△ 25,748	講師謝金・旅費等
4　広報活動費	150,000	118,800	△ 31,200	ホームページ管理　等
5　会議費	80,000	48,732	△ 31,268	理事会2回、評議員会1回
6　事務費	10,000	1,512	△ 8,488	
7　通信費	140,000	130,601	△ 9,399	学会誌等郵送料
8　アルバイト代	10,000	0	△ 10,000	郵送作業
9　予備費	13,000	0	△ 13,000	
(D)当期支出合計	1,233,000	895,319	△ 337,681	
(E)当期収支差額　(A)-(D)	0	400,886	400,886	
(F)次期繰越収支差額(C)-(D)	1,855,593	2,256,479	400,886	
(G)　合計(D)+(F)	3,088,593	3,151,798	63,205	

Ⅱ　差引残額

(A)当期収入合計額　1,296,205 円　－　(D)当期支出合計額　895,319 円　＝　(E)　当期　収支差額　400,886　円

(C)　H29収入合計額　3,151,798 円　－　(D)当期支出合計額　895,319 円　＝　(F)次期繰越収支差額　2,256,479　円

次期繰越収支差額　2,256,479　円は、次年度へ繰り越します。

上記のとおり適切に処理されていることを認めます。
平成 30 年 4 月 6 日

監事　菊池和子　印
小山ゆかり　印

資料 8

平成 30 年度 事業計画（案）

1．学会誌の刊行
　年 2 回の刊行

2．第 11 回学術集会の開催
　会長：高橋　和眞（岩手県立大学）
　会期：2018 年 10 月 13 日（土）
　会場：岩手県立大学　講堂・共通講義棟
　メインテーマ：「一貫した卒前・卒後教育のあり方を考える」

3．総会の開催
　日時：2018 年 10 月 13 日（土）

4．めんこいセミナーの開催

5．広報活動：HP 運営管理等

6．平成 31 年度－平成 33 年度期　評議員・役員選挙
　平成 30 年 6 月頃に評議員，役員の選挙を実施する

7．オープンアクセス化に伴う学会誌最新掲載論文のアップについての検討

資料９

平成30年度予算（案）

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

Ⅰ　収入の部

費　目	平成29年度予算	2018年度予算	増減	備　考
1　会費	1,100,000	1,100,000	0	5,000円×220人（2017年度末会員数）
2　共催補助金	80,000	0	△ 80,000	
3　事業収入	50,000	50,000	0	めんこいセミナー
4　雑収入	3,000	3,000	0	著者抄録使用料、預金利子
(A)当期収入合計	1,233,000	1,153,000	△ 80,000	
(B)前期繰越収支差額	1,855,593	2,256,479	400,886	
(C)合計　(A)＋(B)	3,088,593	3,409,479	320,886	

Ⅱ　支出の部

費　目	平成29年度予算	2018年度予算	増減	備　考
1　編集委員会活動費	680,000	695,000	15,000	学会誌発行2回（印刷代310,000円*2回，英文タイトル校閲，等）、編集委員会2回（旅費、茶菓等）
2　学術集会開催助成費	50,000	50,000	0	第11回学術集会助成50,000円
3　めんこいセミナー開催費	100,000	100,000	0	講師謝金・旅費等
4　広報活動費	150,000	120,000	△ 30,000	ホームページ管理　等
5　会議費	80,000	50,000	△ 30,000	理事会2回、評議員会1回
6　事務費	10,000	80,000	70,000	振込手数料等、選挙事務
7　通信費	140,000	140,000	0	学会誌等郵送料
8　アルバイト代	10,000	10,000	0	郵送作業
9　予備費	13,000	3,000	△ 10,000	
(D)当期支出合計	1,233,000	1,248,000	15,000	
(E)当期収支差額　(A)-(D)	0	△ 95,000	△ 95,000	
(F)次期繰越収支差額(C)-(D)	1,855,593	2,161,479	305,886	
(G)　合計(D)＋(F)	3,088,593	3,409,479	320,886	

資料 10

平成 31 年度　事業方針（案）

１．学会誌の刊行
　　年 2 回の刊行

２．第 12 回学術集会の開催
　　会長：平野昭彦（岩手県立大学）
　　会期：2019 年 10 月 5 日（土）

３．総会の開催
　　日時：2019 年 10 月 5 日（土）

４．めんこいセミナーの開催

５．広報活動：HP 運営管理等

岩手看護学会会則

第一章　総則

第１条　本会は，岩手看護学会（Iwate Society of Nursing Science）と称す.

第２条　本会の事務局を，岩手県立大学看護学部内（〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52）に置く.

第３条　本会は，看護学の発展と会員相互の学術的研鑽をはかることを目的とする.

第４条　本会は，第 3 条の目的を達成するため次の事業を行う.

(1) 学術集会の開催

(2) 学会誌の発行

(3) その他本会の目的達成に必要な事業

第二章　会員

第５条　本会の会員は，本会の目的に賛同し看護を実践･研究する者ならびに看護に関心のある者で，所定の年会費を納入し，理事会の承認を得た者をいう.

第６条　本会に入会を認められた者は，所定の年会費を納入しなければならない.

第７条　会員は，次の理由によりその資格を喪失する.

(1) 退会

(2) 会費の滞納（2 年間）

(3) 死亡または失踪宣告

(4) 除名

２　退会を希望する会員は，理事会へ退会届を提出しなければならない.

３　本会の名誉を傷つけ，または本会の目的に反する行為のあった会員は，評議員会の議を経て理事長が除名することができる.

第三章　役員　評議員および学術集会会長

第８条　本会に次の役員をおき，その任期は 3 年とし再任を妨げない．但し，引き続き 6 年を超えて在任することはできない.

(1) 理事長　　1 名

(2) 副理事長　　1 名

(3) 理事　　10 数名（理事長　副理事長を含む）

(4) 監事　　2 名

第９条　役員の選出は，次のとおりとする.

(1) 理事長は，理事の互選により選出し，評議員会の議を経て総会の承認を得る.

(2) 副理事長は，理事の中から理事長が指名し，評議員会の議を経て総会の承認を得る.

(3) 理事および監事は，評議員会で評議員の中から選出し，総会の承認を得る.

第 10 条　役員は次の職務を行う.

(1) 理事長は，本会を代表し，会務を統括する.

(2) 副理事長は，理事長を補佐し，理事長に事故あるときはこれを代行する.

(3) 理事は，理事会を組織し，会務を執行する.

(4) 監事は，本会の事業および会計を監査する.

第 11 条　本会に，評議員を置く．評議員の定数及び選出方法は，別に定める.

第 12 条　評議員の任期は，3 年とし再任を妨げない．但し，引き続き 6 年を超えて在任することはできない.

第 13 条　評議員は，評議員会を組織し，この会則に定める事項のほかに理事長の諮問に応じ，本会の運営に

関する重要事項を審議する．

第 14 条　本会に，学術集会会長を置く．

第 15 条　学術集会会長は，評議員会で会員の中から選出し，総会の承認を得る．

第 16 条　学術集会会長の任期は，1 年とし再任は認めない．

第 17 条　学術集会会長は，学術集会を主宰する．

第四章　会議

第 18 条　本会に，次の会議を置く．

(1) 理事会

(2) 評議員会

(3) 総会

第 19 条　理事会は，理事長が招集し，その議長となる．

２　理事会は，毎年 1 回以上開催する．但し，理事の 3 分の 1 以上から請求があったときは，理事長は，臨時に理事会を開催しなければならない．

３　理事会は，理事の過半数の出席をもって成立とする．

第 20 条　評議員会は，理事長が招集しその議長となる．

２　評議員会は，毎年 1 回開催する．但し，評議員の 3 分の 1 以上から請求があったときおよび理事会が必要と認めたとき，理事長は，臨時に評議員会を開催しなければならない．

３　評議員会は，評議員の過半数の出席をもって成立とする．

第 21 条　総会は，理事長が召集し，学術集会会長が議長となる．

２　総会は，毎年 1 回開催する．但し，会員の 5 分の 1 以上から請求があったときおよび理事会が必要と認めたとき，理事長は，臨時に総会を開催しなければならない．

３　総会は，会員の 10 分の 1 以上の出席または委任状をもって成立とする．

第 22 条　総会は，この会則に定める事項のほか次の事項を議決する．

(1) 事業計画および収支予算

(2) 事業報告および収支決算

(3) その他理事会が必要と認めた事項

第 23 条　総会における議事は，出席会員の過半数をもって決し，可否同数のときは議長の決するところによる．

第五章　学術集会

第 24 条　学術集会は，毎年 1 回開催する．

第 25 条　学術集会会長は，学術集会の運営および演題の選定について審議するため，学術集会企画委員を委嘱し，委員会を組織する．

第六章　委員会

第 26 条　本会は，円滑な学会運営のために委員会を組織する．

(1) 編集委員会

(2) 広報委員会

第七章　会計

第 27 条　本会の会計年度は，毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日で終わる．

第八章　会則の変更

第 28 条　本会の会則を変更する場合は，理事会および評議員会の議を経て総会の承認を必要とする．

２　前項の承認は，第 23 条の規定にかかわらず出席者の 3 分 2 以上の賛成を必要とする．

第九章　雑則

第 29 条　この会則に定めるもののほか，本会の運営に必要な事項は，別に定める．

附則

この会則は，平成 19 年 6 月 23 日から施行する．

１）平成 25 年 10 月 19 日，一部改正（委員会）．

２）平成 26 年 4 月 12 日，一部改正（総則，事務局住所）

岩手看護学会　役員名簿（2018 年 4 月現在）

理 事 長	福　島　裕　子	岩手県立大学
副理事長	三　浦　幸　枝	岩手医科大学
理　　事	石　井　真紀子（副広報委員長）	岩手保健医療大学
	伊　藤　奈　央（会計）	岩手医科大学附属病院
	岩　渕　光　子（庶務）	岩手県立大学
	上　林　美保子（編集委員長）	岩手県立大学
	蛎　崎　奈津子（副編集委員長）	岩手医科大学
	菖蒲澤　幸　子（広報委員長）	日本赤十字秋田看護大学
	鈴　木　美代子（副編集委員長）	岩手県立大学
	千　田　睦　美（庶務）	岩手県立大学
	松　川　久美子（会計）	岩手県立大学
	三　浦　奈都子（庶務）	岩手県立大学
監　　事	小　山　ゆかり	一関市立藤沢中学校
	菊　池　和　子	岩手保健医療大学
評 議 員	アンガホッファ　司寿子	岩手県立大学
	工　藤　朋　子	岩手県立大学
	佐々木　幸　子	岩手医科大学附属病院
	武　田　利　明	岩手県立大学
	土　屋　陽　子	名寄市立大学
	畠　山　なを子	前弘前学院大学

（五十音順，敬称略）

岩手看護学会入会手続きご案内

本学会への入会を希望される方は，以下の要領に従ってご記入の上，入会申込書を岩手看護学会事務局までご郵送ください.

1．入会申込書に必要事項をもれなくご記入ください.「実践・関心領域」や「最終卒業校」の未記載が多くなっております．すべての項目を必ずご記入ください．提出された書類は返却いたしませんのでご注意下さい.

2．入会申込書は楷書ではっきりとお書きください.

3．入会申込書に年会費の払込金受領証（コピー）を添付し，下記事務局まで郵送してください.

(1) 年会費 5,000 円です．会員の種類は正会員のみです.

(2) 郵便局に備え付けてある郵便振替払込用紙，または当学会が作成した払込用紙にて年会費をお振り込みください.

・口座番号：０２２１０－６－８９９３２

・加入者名：岩手看護学会

≪ご注意≫「払込金受領証」を必ず受け取り，受領印があることをご確認ください.

(3) 振込手数料は入会希望者がご負担ください.

(4)「払込金受領証」のコピーを入会申込書の裏に貼付してください.

(5) 入会申込書を封書でお送りください.

≪ご注意≫ 振り込み手続きだけでは入会申し込みは完了いたしません.
入会申込書を必ずお送りください.

4．入会申込は，随時受け付けています.

＜事務局＞〒020-0693　岩手県滝沢市巣子 152-52
岩手県立大学看護学部内　岩手県看護学会事務局　千田　睦美
FAX：019-694-2273　　E-mail：iwatekango@ml.iwate-pu.ac.jp
HP：http://isns.jp/

No.（事務局記載欄）

岩手看護学会　入会申込書

岩手看護学会理事長　殿

貴会の趣旨に賛同し会員として入会いたします.

申　込　日	平成（　　）年（　　）月（　　）日	
氏　　名	フリガナ	性　別
		1．男　　2．女
現在の職種 （ひとつに○）	1．保健師　　2．助産師　　3．看護師 4．准看護師　　5．養護教諭　　6．看護教員 7．その他（　　）	
勤務先住所	〒 勤務先名:	
	TEL：　　FAX:	
	E-mail:	
自 宅 住 所	〒	
	TEL：　　FAX:	
	E-mail:	
郵便物送付先 （どちらかに○）	1．勤務先　　2．自宅	
最終卒業校		
実践・関心領域		

注１）性別・郵送物送付先・職種については各欄のいずれかの番号に○をお付けください.

注２）**裏面に年会費払込金受領証のコピーを必ず添付してください.**

添付のない場合は入会申込が無効となります.

「実践・関心領域」や「最終卒業校」の未記載が多くなっております．すべての項目を必ずご記入ください.

記入後，郵送にて下記の事務局までお送りください.

＜事務局＞〒020-0693　岩手県滝沢市巣子 152-52

岩手県立大学　看護学部内　岩手看護学会　事務局　千田　睦美

FAX：019-694-2273　　E-mail：iwatekango@ml.iwate-pu.ac.jp

岩手看護学会誌投稿規則

1．総則

(1) 本学会は，看護学における研究成果の発表を目的として，岩手看護学会誌/Journal of Iwate Society of Nursing Science を年 2 回発行する.

(2) 刊行については，本学会が編集委員会を設置し，その任にあたる.

(3) 本雑誌は，オンライン（Internet）および紙媒体にて出版する.

2．投稿規定

(1) 投稿資格

1) 筆頭執筆者は本学会の会員とする.

2) 本学会が依頼した場合には前項の限りではない.

3) 日本以外の国から投稿する者については会員以外でも投稿資格を有するものとする.

4) その他の投稿者については編集委員会が決定する.

(2) 著作権

本誌掲載論文の著作権は本学会に帰属する.

投稿者は，版権の利用に当たって，本規則の附則に従う.

(3) 論文の種類

本誌に掲載する論文は，総説，原著，事例報告，研究報告，短報，その他とし，論文として未発表のものとする．審査の段階で編集委員会が論文の種類の変更を指示することがある.

・総説

看護学に関わる特定のテーマについての知見を集め，文献等をレビューし，総合的に学問的状況を概説したもの.

・原著

看護学に関わる研究論文のうち，研究そのものに独創性があり，新しい知見を含めて体系的に研究成果が記述されており，看護学の知識として意義が明らかであるもの．原則として，目的，方法，結果，考察，結論の 5 段の形式で記述されたものでなければならない.

・ 事例報告

臨床看護上貴重な臨床実践例の報告で，臨床看護実践または看護学上の有益な資料となるもの.

・研究報告

看護学に関わる研究論文のうち，研究成果の意義が大きく，看護学の発展に寄与すると認められるもの．原則として，目的，方法，結果，考察，結論の 5 段の形式で記述されたものでなければならない.

・短報

看護学に関わる研究論文のうち，新しい知識が含まれており，看護学の発展に寄与することが期待できるもの．原則として，目的，方法，結果，考察，結論の 5 段の形式で記述されたものでなければならない.

・その他（論壇，実践報告，資料等）

看護学に関わる論文.

(4) 論文の提出

論文は，岩手看護学会ホームページよりオンライン投稿する.

(5) 論文の採否

投稿論文の採否の決定は，査読を経て編集委員会が行う．査読者は編集委員会が依頼する.原則として査読者は 2 名とする．査読者間の意見の相違が在る場合は編集委員会が別の 1 名に査読を依頼することが

できる．査読は別途定める査読基準ならびに査読ガイドラインに従って行う．

投稿論文の審査過程において，編集委員会からの修正等の要望に対し 3 か月以上著者からの回答がなかった場合には自動的に不採用とする．

(6) 編集

論文の掲載順序その他編集に関することは，編集委員会が行う．

(7) 校正

初校は著者校正とする．著者校正は原則として字句の訂正に留めるものとする．再校以後は編集委員会にて行う．

(8) 別刷り

10 部単位で著者校正時に申請する．別刷りにかかる費用は著者の負担とする．

(9) 倫理的配慮

人及び動物が対象とされる研究は，倫理的に配慮され，その旨が本文中に明記されていること．具体的には下記の倫理基準を満たしていること．また，原則として研究倫理審査委員会の審査をうけていること．

・人体を対象とした研究では，「ヘルシンキ宣言」に従うこと．
・動物を対象とした研究では，「岩手県立大学動物実験倫理規定」または同等水準の倫理基準を満たしていること．
・調査研究については，「疫学研究に関する倫理指針」または同等水準の倫理基準を満たしていること．
・ヒトゲノム・遺伝子解析を対象とした研究は，「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「遺伝子治療臨床研究に関する指針」または，これと同等水準の倫理基準を満たしていること．

(10) 投稿手続き

1) 論文の投稿は，岩手看護学会ホームページの学会誌論文投稿用アドレスより行う．投稿の際は，①筆頭著者の氏名，②会員番号，③所属，④連絡先住所および郵便番号，⑤電子メールアドレス，⑥論文タイトル，⑦論文の種類　を明記し，論文と投稿チェックリストを添付して送信する．

2) 編集委員会が，投稿論文が投稿規則に従っていることを確認した時点で投稿手続きが終了し，この日をもって受付日とする．また，査読を経て，編集委員会が雑誌掲載を許可した日をもって受理日とする．

3) 採用された論文の掲載に研究倫理審査書，共同研究者同意書等が必要とされた場合には，論文受理通知後 2 週間以内に編集委員会宛てにそれらの書類を提出すること．

4) 著者は受理日以降であれば，論文掲載証明を請求することが出来る．

(11) 掲載料

掲載料は無料とする．ただし，カラー写真掲載に関する費用は実費負担とする．

３．執筆要領

(1) 論文の記述

1) 論文原稿は，和文または欧文（原則として英文）とし，A4 サイズ横書き，Microsoft Word 書類とする．

2) 論文の分量は，表題，要旨，本文，引用文献，図表，Abstract 等全てを含め，組み上がり頁数で以下の規定以内とする．

・総説：25,000 字以内（25 頁以内）
・原著：25,000 字以内（25 頁以内）
・事例報告：16,000 字以内（16 頁以内）
・研究報告：25,000 字以内（25 頁以内）
・短報：8,000 字以内（8 頁以内）
・その他：内容により編集委員会が決定する．

3）和文原稿は，原則として現代かなづかい，JIS 第 2 水準までの漢字を用いる．外国の人名，地名，術語は原語のまま表記する．学術的に斜字体で表記されている術語は斜字体で表記する．単位および単位記号は，原則として SI 単位系に従うものとする．和文原稿の句読点はピリオド及びカンマとする．

4）論文には 400 字以内の和文要旨をつけ，原著については 250 語以内の Abstract（英文）もつける．原著以外の論文に Abstract をつけてもよい．

5）欧文（英文 Abstract を含む）は原則として Native Check を受けたものとする．

6）5 語以内のキーワード（和文および英文それぞれ）をつける．

7）投稿論文は下記の要領で作成する．

・論文は，表題，著者名，所属，要旨，キーワード，本文，引用文献，表題（英文），著者名（英文），所属（英文），Abstract（英文要旨），Keywords，図，表の順に作成する．本文が欧文である場合には，表題以下の英文部分から始め，和文の表題，著者名，所属，要旨，図，表を順に最後に記載する．なお，本文中に図表が挿入される箇所を明示する．

・原稿は A4 版横書きで，35 文字×28 行（約 1,000 字），文字は 10 ポイントとする．

・文書余白は上下 30mm,左右 30mmとする．

・表題は 16 ポイントとする．

・本文和文書体は MS 明朝，見出しは MS ゴシック（11 ポイント）を用いる．本文欧文書体は Times New Roman を用いる．

・上付き，下付き文字は MS 明朝を用い，Microsoft Word の機能を用いて作成する．

・図表の掲載について以下の通りとする．

図表はひとつの図表の原図毎に A4 用紙 1 枚を用いて提出する．

図には論文内でそれぞれ通し番号を付し，表題とともに，「図 1．表題」と図の直下に中央揃えにて記載する．

表には論文内でそれぞれ通し番号を付し，表題とともに「表 1．表題」と表の直上に左寄せにて記載する．

・図表の文字数の目安は，大きさにより，大（1 頁 1000 字），中（1/2 頁 500 字），小（1/4 頁 250 字）として換算する．

8）丸付き数字，ローマ数字等の機種依存文字は使用しない．

（2）文献の記載

引用文献の記載方法は下記に従う．

1）文献を引用する場合は，本文の引用箇所に著者名（姓）と発行年次を（　　）内に表す．なお，書体は本文に準じる．

・単独著者による文献の場合……

例）岩手（2016）は・・・の重要性を示唆した．　　・・・が指摘されている（岩手，2016）．

・複数著者による文献の場合……　筆頭者他とする

例）滝沢他（2015）は・・・　　・・・については・・・のように指摘されている（滝沢他，2015）．

2）引用文献は最後に一括して著者名のアルファベット順にリストを掲げる．同一著者の文献は発行年順に配列し，発行年が同一の場合は，2016a，2016b のようにアルファベットをつけて区別する．なお，本文中の引用部分も同一のアルファベットを用いて出典を区別する．

3）文献の共著者名の記載については下記の例に従う．

・和文の場合……3 名以下のときは全員の姓名，4 名以上のときは，筆頭から 3 名の姓名の後に「，他」をつける．

・欧文の場合……3 名以下のときは姓，名のイニシャル，4 名以上の時は 3 名までの姓，名のイニシャルに「, et al.」をつける．

4）記載の様式は下記のようにする．

・雑誌の場合……著者名（発行年次）：表題名，雑誌名，巻または巻（号），頁.

例）兼松百合子（2015）：看護ケアをどのように追究してきたか，岩手看護学会誌，9（1），24-31.

兼松百合子，藤原マサミ，野崎富子，他：＜昭和 45 年＞岩手県立衛生学院開学の経緯－看護婦・保健婦・歯科衛生士や関係者の貢献－，岩手看護学会誌，10（1），15-23.

県大太郎（2012a）：A 病院における高齢者の転倒予防に向けた取り組み，県大雑誌，35，2-8.

県大太郎（2012b）：家族と共に行う高齢者の転倒予防，県大看護会誌，8，26-32.

・単行本の場合……著者名（発行年次）：書名，出版社名，発行地.　または著者名（発行年次）：論文の表題，編者名，書名，頁，出版社名，発行地.

例）石井トク（2015）：医療安全　患者を護る看護プロフェッショナル，医歯薬出版，東京.

菊池和子（2014）：臨地実習に必要な看護倫理　看護計画の評価，石井トク，江守陽子，川口孝泰，看護倫理　看護の本質を探究・実践する，135-139，学研メディカル秀潤社，東京.

・訳本の場合……原著者名（原書発行年次/訳者名，翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名，出版社名，発行地.

例）Patricia W. Hickey（1990/兼松百合子，数間恵子 1991）：看護過程ハンドブック，医学書院，東京.

・ホームページの場合……著者名（投稿･掲載の年次）：URL［検索日 年月日］

例）厚生労働省（2014）：http://www.mhlw.go.jp/toukei/xxx./index.html［検索日 2015 年 2 月 3 日］

（3）英文投稿は本規則のほか Journal of Iwate Society of Nursing Science Submission Guidelines を参照すること.

附則 1．版権について

（1）学会誌掲載内容（学会ホームページ上で公開する電子媒体を含む）の版権は，全て学会に帰属する.

（2）学会誌内で掲載されている図表など原著性の高い内容を他の雑誌や書籍刊行物にて使用する際には，学会誌編集委員長に対して必ず書状にて許諾申請を行うものとする．許諾は編集委員会宛て郵送にて申請する（電子メールでの申請は受け付けない）.

（3）前項の許諾申請は 1．引用する学会誌の論文の号・巻・頁・年度・タイトル・筆頭著者名・使用したい図表等の掲載頁とその図表番号，2．利用目的，3．依頼者住所・氏名・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレスを明記し，自著署名を付して申請すること.

（4）使用許可のおりた図表等の利用に関しては脚注に（あるいは参考文献として）原著を引用文献として明示すること.

附則 2．本規則の適用期間

本規則は平成 19 年 6 月 23 日より発効する.

附則 3．本規則の改訂

本規則の改訂は平成 20 年 10 月 4 日から施行する.

附則 4．本規則の改訂

本規則の改訂は平成 21 年 10 月 17 日から施行する.

附則 5．本規則の改訂

本規則の改訂は平成 23 年 4 月 16 日から施行する.

附則 6．本規則の改訂

本規則の改訂は平成 24 年 9 月 19 日から施行する.

附則 7．本規則の改訂
本規則の改訂は平成 26 年 9 月 28 日から施行する．

附則 8．本規則の改訂
本規則の改訂は平成 28 年 4 月 2 日から施行する．

附則 9．本規則の改訂
本規則の改訂は平成 28 年 10 月 30 日から施行する．

附則 10．本規則の改訂
本規則の改訂は平成 29 年 5 月 31 日から施行する．

附則 11．本規則の改定
本規則の改訂は平成 30 年 4 月 30 日から施行する．

Journal of Iwate Society of Nursing Science Submission Guidelines

1. General Guidelines

（1）The Journal of Iwate Society of Nursing Science is published by the Society two times a year for the purpose of sharing research results in nursing.

（2）The editorial committee is established by the Society to carry out publishing responsibilities.

（3）The journal is published online and on paper.

2. Submission Rules

（1）Qualifications for Submission

1）The first author listed must be a member of the Society.

2）Authors requested by the Society are exempt from the preceding qualification.

3）Authors residing outside Japan are not required to be members of the Society.

4）Other authors may be qualified by the editorial committee.

（2）Article Categories

Articles published in the Journal must be review articles, original articles, case reports, research reports, brief reports and others, which are unpublished. In the review process, the editorial committee may suggest a change in categories.

・Review Article

A comprehensive evaluation and discussion based on a critical review of literature concerning a specific theme in nursing.

・Original Article

A research article in nursing with originality, including new knowledge and systematically describing research results. It should contain clear significance for knowledge in nursing science. It must be presented systematically consisting of purpose, method, results, discussion and conclusion.

・Case Report

A report of a valuable clinical example of nursing. It will provide beneficial information for nursing practice and nursing science.

・Research Report

A research article in nursing with a significant research conclusion, which will be recognized as contributing to the development of nursing science. The article must consist of purpose, method, results, discussion and conclusion.

・Brief Report

A short research article in nursing containing new knowledge, expected to contribute to the development of nursing science. The article must consist of purpose, method, results, discussion and conclusion.

・Other articles （Issue, Practice Report, Material, etc.）

Articles in nursing science.

（3）Article Submission

Articles should be submitted online.

（4）Review Process

The decision on submitted articles concerning acceptance for publication is carried out by the editorial committee, based on the evaluation of two anonymous reviewers at the request of the committee. If there are differences of opinion between the reviewers, an additional reviewer will be requested. The review is conducted in accordance with the reviewing standards and guidelines.

If the author does not respond to the editorial committee's comments on modifications for more than three months, the

article will automatically be rejected.

（5）Editing

The publication sequence of articles and other editorial issues are performed by the editorial committee.

（6）Proofs

The first proofreading will be conducted by the author. Corrections by the author will be limited to the correction of words and phrases. Further proofreading will be performed by the editorial committee.

（7）Reprints

The author may ask for reprints in blocks of 10 copies during the proofreading process. The cost will be the responsibility of the author.

（8）Ethical Considerations

Research on human subjects or animals must include a statement of ethical consideration. The ethical standards written below must be fulfilled. The research protocol must be approved by the Ethical Committee of the institution.

・Research on the human body must follow the “Helsinki Declaration”.

・Research on animals must meet the ethical standards of the “Iwate Prefectural University Ethical Provisions for Animal Experiments” or other similar standards.

・Investigative research studies must meet the ethical standards of the “Ethical Guidelines on Epidemiologic Study” or similar standards.

・Research on the human genome and genetic analysis must meet the ethical standards of the “Ethical Guidelines for Human Genome and Genetic Analysis” and “Guidelines for Clinical Research on Gene Therapy” or similar standards.

（9）Submission Procedures

1）Articles should be submitted through the Iwate Society of Nursing Science web site by attaching the file of article. The submitter also should write ①Name of the first author, ②Membership number, ③Affiliation, ④Postal address including postal code, ⑤E-mail address, ⑥Title of the article, ⑦Category of the article. Submission checklist should be attached.

2）Once the editorial committee has confirmed that the submitted article conforms to the submission rules, the submission procedures are completed and this date is considered the date of receipt. The date when the editorial committee accepts the article for publication, based on the reviewers’ evaluation, is considered the date of acceptance.

3）The author of an article accepted for publication for which a joint research agreement and ethical screening report are necessary must supply those documents to the editorial committee within two weeks of notification of acceptance of the article.

4）The author may request a proof of publication for the article after the date of acceptance.

（10）Publication Costs

The costs for publication are free. However, publication costs of color photographs are the responsibility of the author.

3. Writing Guidelines

（1）Description of the Article

1）The submitted article is to be in Japanese or English, using A4 page settings and written in MS Word.

2）The length of the article must be no longer than the page limits described below. The page count is inclusive of all parts of the article: title, abstract, main text, references, tables, and figures.

・Review Article：6,500 words

・Original Article：6,500 words

・Case Report：4,000 words

・Research Report：6,500 words

・Brief Report：2,500 words
・Other articles：The editorial committee will decide on the length of the article according to content.

3）Measurements and measurement symbols should conform to System International（SI）units.
4）An abstract of within 250 words should be attached to articles .
5）Five or fewer keywords should be included in all articles.
6）The article should be as follows
・The article should be presented in the following order title, name of the author, affiliation, abstract, keywords, figures, tables, text, references.
・The text and references should be one-columned, 35 lines in 10 point font and everything else should be in one column.
・The top and bottom margins should be set at 25mm and the left and right margins should be set at 20mm. Margins will be used by the editorial committee to display page numbers, the name, volume and number of the journal and the dates of receipt and acceptance.
・The title should be in 16 point font.
・The typeset for English text should be Times New Roman.
・Insertion of Diagrams:
・Sequential numbers should be added to each figure in the article and e.g. “Fig 1.” and the title of the figure should be centered directly below each figure.
・Sequential numbers should be added to each table in the article and e.g. “Table 1.” and the title of the table should be written directly above the table to the left.
7）Numbers enclosed in circles, roman numerals and similar machine-dependent characters should not be used.
8）If the author is Japanese, the Japanese title of the article, the name of the author in Japanese, the name of the affiliation in Japanese and an abstract in Japanese should be attached.

（2）Description of References

Citations should follow.

1）When citing a text, the author’s name（surname）and the year of publication should be mentioned in brackets in the main text. Furthermore, the font should be the same as that of the main text.

Eg. Iwate（2016）suggested the importance of・・・.

・・・is shown as・・・（Takizawa et al., 2015）.

2）The cited literature should all be listed in alphabetical order at the end of the document. If there is more than one text by the same author, they should be arranged in order of the year of publication and distinguished by appending letters after the year of publication, such as 2016a, 2016b. The citations in the main text should also use the same letter to distinguish the sources.
3）The author’s name should be cited as in the following examples:
・For Japanese literature: for up to three authors, the full names of the authors should be provided. In the case of four or more authors, “, et al.” should be added after the full name of the third author,
・For foreign literature: for up to three authors, the surname should be followed by the initial of the given name. In the case of four or more authors, the surname and initial of the first three authors are provided followed by “, et al.”

4）The format for listing references at the end is as described below:

・For magazines: Author name （year of publication）: title, name of the magazine, volume or volume（issue）, pages.

Eg. Yuriko Kanematsu,（2015）: Continuous Inquiry into Nursing Care, *Journal of Iwate Society of Nursing Science*, 9（1）, 24-31.

Kanematsu Y., Fujiwara M., Nozaki T, et al.（2015）: Opening of Iwate Prefectural Institute of Health Practitioners in1970－Contributions of Nurses, Public Health Nurses, Dental Hygienist and others－, *Journal of Iwate Society of Nursing Science*, 10（1）, 15-23.

Taro Kendai（2012a）: Fall prevention measures for the elderly in Hospital A, Prefectural Magazine, 35, 2-8.

Taro Kendai（2012b）: Fall prevention measures for the elderly carried out in association with family members, *Prefectural Journal of Nursing*, 8, 26-32.

・For books: Author name（year of publication）: title, publisher name, place of issue. Or: Author name （year of publication）: title of the paper, name of author, title, pages, publisher, place of issue.

Eg. Toku Ishii（2015）: Medical Safety: *The Nursing Professionals Taking Care of Patients*, Medical, Dental and Pharmacological Publishing, Tokyo.

Kazuko, Kikuchi（2014）: Essential Nursing Philosophy for On-Site Practice: Evaluation of Nursing Plans, Ishii T., Emori Y., Kawaguchi T., *Nursing Philosophy: Exploring and Practicing the Essence of Nursing*, 135–139, Gakken Medical Shujunsha, Tokyo.

・For translations: Name of the original author （publication year of original article/name of the translator, publication year of the translation）: title of the translation, name of the publisher, place of issue.

Eg. Patricia W. Hickey（1990/Yuriko Kanematsu, Keiko Kazuma 1991）: Nursing Process Handbook, Medical Journal, Tokyo.

・For websites: Author name （year of posting）: URL［date accessed］

Eg. Ministry of Health, Labor and Welfare （2014）: http://www.mhlw.go.jp/toukei/xxx./index.html［Accessed February 3, 2015］

4. Copyrights

（1）The copyrights of all articles and content of the journal（including the online version on the web site）are reserved by the society.

（2）Before using diagrams and highly original items published in the journal, users must apply for permission from the editorial committee of the journal.（E-mail applications will not be accepted.）

（3）An application for permission should include:

1. The volume, number, pages, year, title of the article, the name of the first author listed and the page number or number of the diagram for which permission is sought.
2. The purpose of use.
3. The full name, address, telephone and fax number, e-mail address and signature of the applicant.

（4）Diagrams and other items for which permission for use is granted must be stated as a citation from the original article in footnotes or references.

April 30, 2018

岩手看護学会誌　論文投稿のご案内

岩手看護学会では，岩手看護学会誌を年 2 回発行しております．冊子体としての発刊のほかに，インターネットに対応した電子体でも発刊しております．また，「医学中央雑誌」に掲載されております．

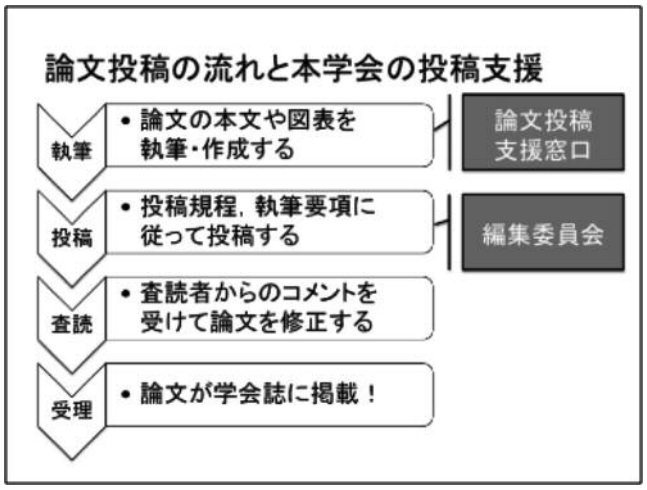
論文には，「総説」「原著」「事例報告」「研究報告」「短報」「その他」と種類があります．院内でとりくまれている看護研究や日々のかかわりをまとめた事例研究，普段から取り組んでいる業務の改善などを，論文としてまとめてみてはいかがでしょうか．

岩手看護学会誌は，みなさまからの投稿で成り立っております．岩手看護学会では，みなさまの論文投稿の支援を，論文投稿支援窓口と編集委員会が行っております．

みなさまからの論文の投稿をお待ちしています．

支援窓口，支援内容，問い合わせ先

- 論文投稿支援窓口
  - ➢ 論文の執筆に関する相談をお受けします．
  - ➢ 担当者：鈴木美代子，蛎崎奈津子
- 連絡先：**shien@isns.jp**
- 編集委員会
  - ➢ 投稿から校正までをお手伝いします．
  - ➢ 担当：岩手看護学会編集委員会
  - ➢ 連絡先：**regist@isns.jp**（論文投稿のメールアドレスと同じ）



査　読　者　一　覧

第 9 巻第 1 号，第 9 巻第 2 号，第 10 巻第 1 号，第 10 巻第 2 号
第 11 巻第 1 号，第 11 巻第 2 号，第 12 巻第 1 号，第 12 巻第 2 号

相墨　生恵
アンガホッファ司寿子
安藤　広子
石井真紀子
内海　香子
遠藤　巴子
大谷　良子
小笠原郁子
小澤　尚子
兼松百合子
川原　泰子
木内　千晶
工藤　朋子
小坂　未来
小嶋美沙子
佐藤奈美枝
白畑　範子
菅原よしえ
角川　志穂
高橋　有里
武田　利明
千田　睦美
中野千恵子
野口　恭子
延足　玲子
畠山なを子
原　　瑞恵
平野　昭彦
藤田　淳子
細越　幸子
三浦奈都子
三浦まゆみ
村松　　仁
室岡　陽子
谷地和加子
山内　一史
吉田千鶴子
渡辺　幸枝

（五十音順，敬称略）

編　集　後　記

今回は，研究報告 3 本，事例報告 1 本のご投稿をいただきました．著者および査読者の皆さまに感謝申し上げます．

日々の看護業務のなかで得られた体験や取り組みを埋もれさせず，多くの仲間と共有し，多くの看護職に活用していただけるよう，日々の実践をまとめ発表していただきたいと思います．事例報告をはじめ各施設での看護活動や教育活動などの報告を投稿してみませんか．

今後もより多くの皆さまに，看護実践，教育，研究等に関する成果の発表機会として，また，学びの場として身近に感じていただけるよう編集委員会一同，努力していきたいと思いますので，どうぞよろしくお願いいたします．

（箱石　記）

編集委員

上林美保子（委員長）　蛎崎奈津子（副委員長）　及川　紳代　鈴木美代子（副委員長）
蘇武　彩加　田口美喜子　鳥居奈津子　中野千恵子
箱石　恵子　藤澤　由香

（五十音順）

岩手看護学会誌　第 12 巻　第 2 号

発行日　2018 年 11 月 30 日

編　集　岩手看護学会編集委員会
代表者　上林美保子

発　行　岩手看護学会
代表者　福島裕子
〒020-0693
岩手県滝沢市巣子 152-52
岩手県立大学看護学部内岩手看護学会事務局
Fax　019-694-2273
E-Mail　regist@isns.jp

印刷　河北印刷株式会社

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので
ご注意ください.
©2018. 5　ISSN　1882-6075

ISSN 1882-6075

Journal of Iwate Society of Nursing Science

Foreword

Looking back to the Journal of Iwate Society of Nursing Science
Natsuko kakizaki 1

Research Report

Nursing Students' Attitudes Toward Postoperative Delirium
Asuka Kamata,Naoko Ozawa 3

Experience in End-of-Life Care of Nurses and Care Workers in Geriatric Health Services Facility
Sayoko Hinata, Kazuko Kikuchi 15

Experiences in Relationships with Others that Promote Acceptance of Pregnancy by Primigravidae
Shoko Kaneya 29

Case Report

Nursing of Elderly Primipara with Late Pregnancy Osteoporosis
Yukiko Yuda, Misako Nakamura, Shinobu Okudera 37

MENKOI Seminar

Kaoru Kawasaki 47

Iwate Society of Nursing Science Meeting Reports

Information on the 12th Conference 60
Minutes of the First Board of Directors Meeting 2018 61
Minutes of the 2nd Board of Directors Meeting 2018 64
Minutes of the 3rd Board of Directors Meeting 2018 66
Minutes of the Board of Councilors Meeting 2018 68
Agenda Materials for the General Meeting 2018 70
Constitution of the ISNS 87
Board of Directors and Councilors 90
Membership Application Information 91
Membership Application Form 92
Journal of Iwate Society of Nursing Submission Guidelines 93
Information about Submission of Articles 102
Referee Index 103

Editorial Postscript 104

Volume 12 Number 2 November 2018

Iwate Society of Nursing Science